

---

## II-4 子育て中および子育て終了世帯の調査結果

---

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

区内に居住する子育て中および子育て終了世帯の一般区民に対してアンケートを行うことにより、生活実態、結婚や子育て等に関する意見などを把握し、「練馬区子ども・子育て支援事業計画」を策定するうえでの基礎資料とします。

#### (2) 調査内容

- ①調査票記入者の状況について
- ②家族および生活について
- ③子育てについて
- ④子育てに関する情報、相談等について
- ⑤結婚や子育てについて
- ⑥労働・社会保険等による支援の周知状況について
- ⑦地域交流について
- ⑧少子社会に対する考え方について
- ⑨行政サービスへの要望について

#### (3) 調査仕様

- ①調査地域 区全域
- ②調査対象 区内に居住する子育て中世帯（13歳から18歳の末子のいる世帯）および子育て終了世帯（50歳から65歳の夫婦のみの世帯）
- ③標本数 500件
- ④抽出方法 住民基本台帳から調査対象の条件をかけて抽出
- ⑤調査方法 郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間 平成25年10月23日～11月5日

#### (4) 回収数・回収率

285件 有効回答率=57.0%

## (5) 本報告書における調査結果の見方

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています（無回答および有効回答数が10未満を除く）。

### ○居住地区について

調査結果の「居住地区」は、総合福祉事務所管轄で区分しています。

地区	町名
練馬	旭丘、向山、小竹町、栄町、桜台、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、中村、中村北、中村南、貫井、練馬、羽沢
光が丘	春日町、高松、田柄、光が丘、旭町、土支田、錦、氷川台、平和台、早宮、北町
石神井	富士見台、谷原、高野台、南田中、下石神井、石神井町、三原台、上石神井、上石神井南町、石神井台、関町東、関町北、関町南、立野町
大泉	大泉学園町、大泉町、西大泉、西大泉町、東大泉、南大泉

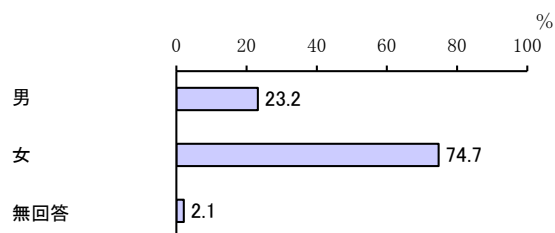
## 2. 調査結果

### (1) 調査票記入者の状況について

F 1 あなたは、次のどれに当てはまりますか。(それぞれ○は1つ)

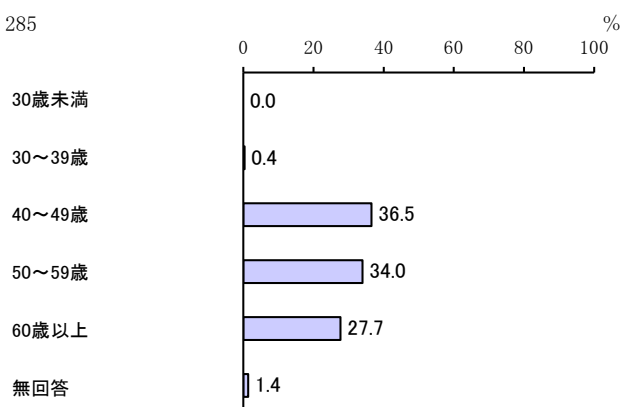
#### ①性別

「女」の割合が 74.7%、「男」の割合が 23.2%となっています。 N = 285



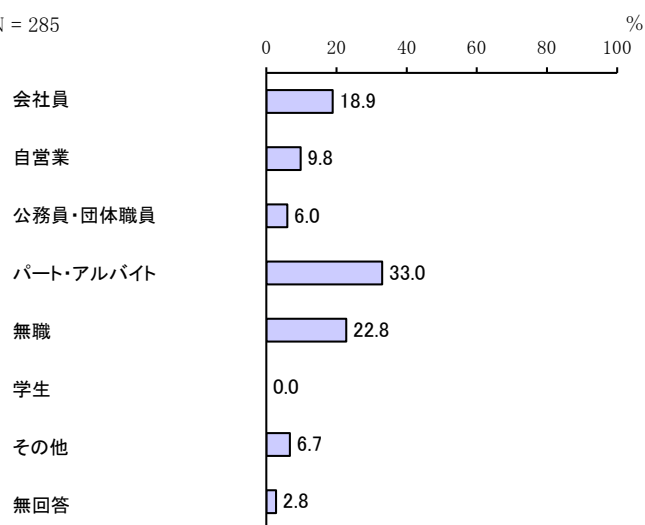
#### ②年齢

「40～49 歳」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「50～59 歳」の割合が 34.0%、「60 歳以上」の割合が 27.7%となっています。 N = 285



#### ③職業

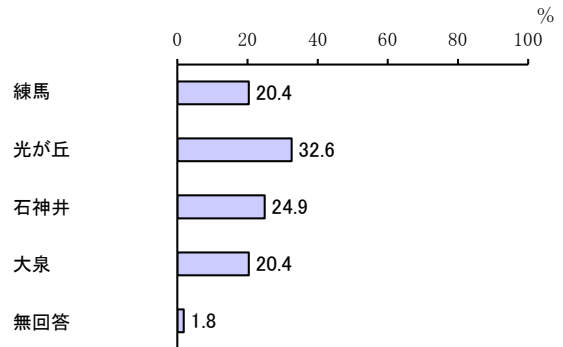
「パート・アルバイト」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「無職」の割合が 22.8%、「会社員」の割合が 18.9%となっています。 N = 285



## F 2 あなたのお住まいの町名を書いてください。

「光が丘」の割合が 32.6%、「石神井」の割合が 24.9%、「練馬」「大泉」の割合が 20.4%となっています。

N = 285

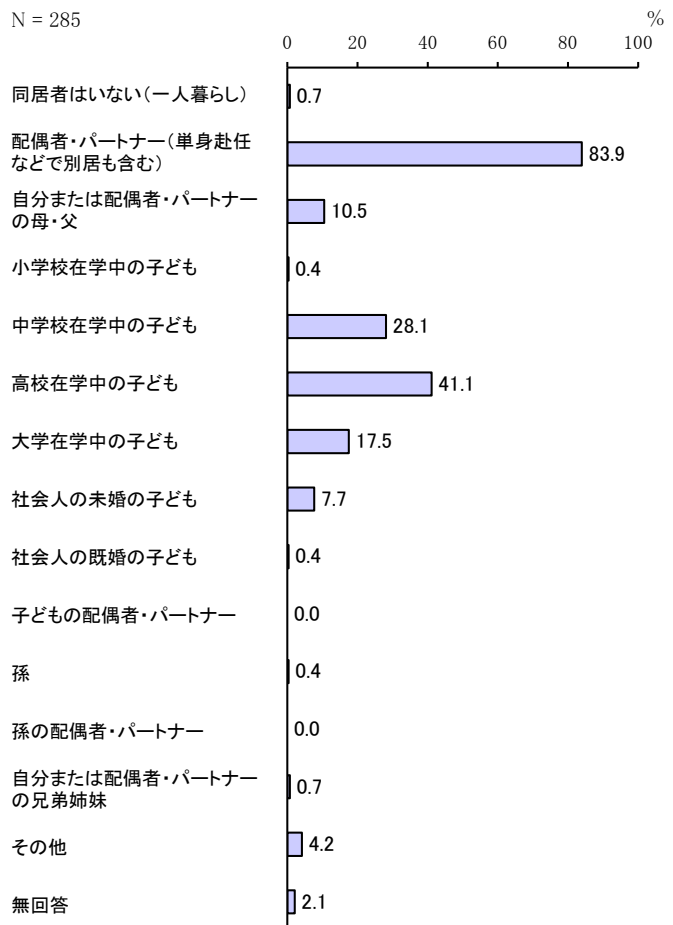


## (2) 家族および生活について

問1 同居されている方はどなたですか。あなたを中心にお答えください。(○はいくつでも、また、( )の中に数字を記入)

「配偶者・パートナー(単身赴任などで別居も含む)」の割合が 83.9%と最も高く、次いで「高校在学中の子ども」の割合が 41.1%、「中学校在学中の子ども」の割合が 28.1%となっています。

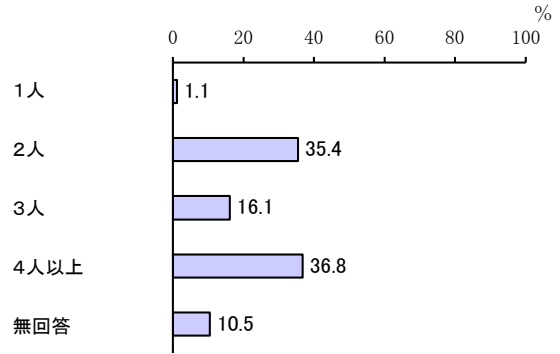
N = 285



### 【家族の人数】

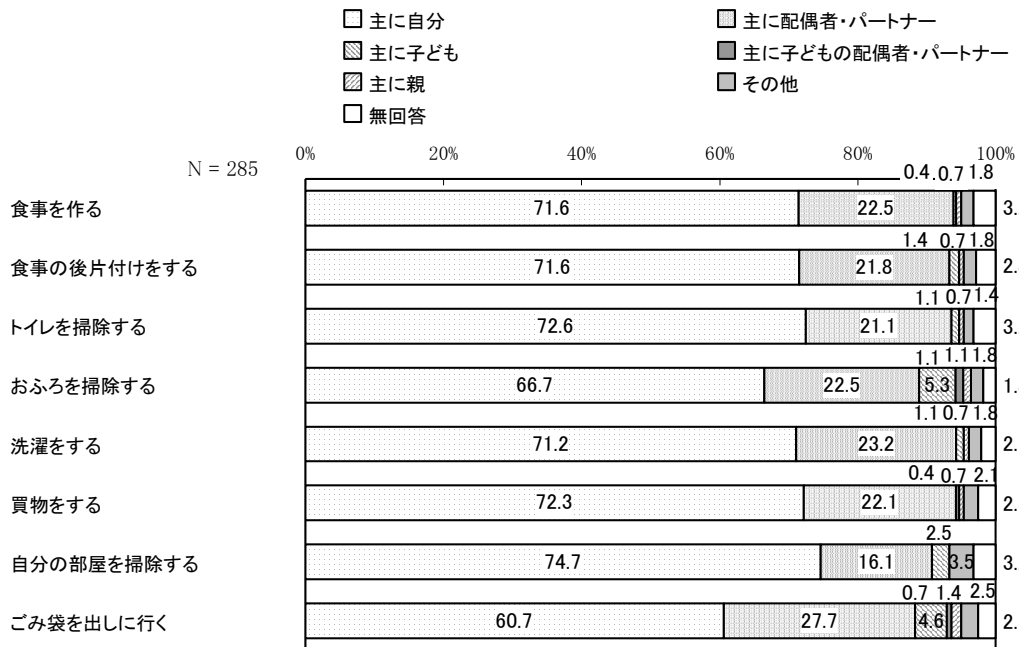
「4人」の割合が36.8%と最も高く、次いで「2人」の割合が35.4%、「3人」の割合が16.1%となっています。

N = 285



### 問1-1 次のようなことについて、家庭内では誰がしていますか。(それぞれ○は1つ)

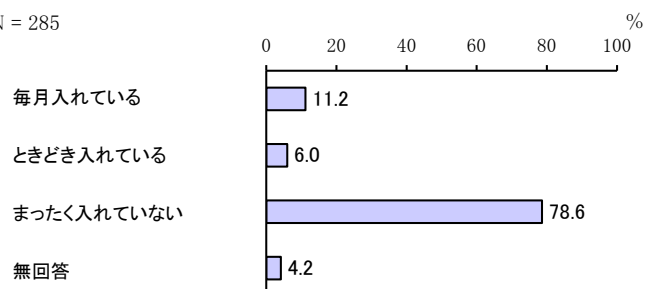
すべての項目で「主に自分」の割合が高くなっています。「ゴミ袋を出しに行く」では「主に配偶者・パートナー」の割合がやや高くなっています。



### 問2 あなたは、子どもへ生活費（仕送り）を入れていますか。(○は1つ)

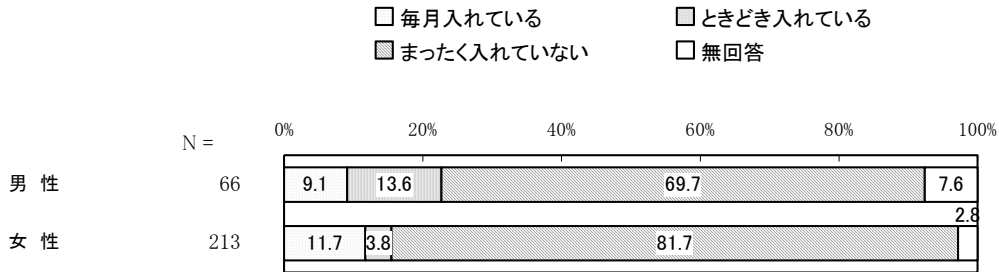
「まったく入れていない」の割合が78.6%と最も高く、次いで「毎月入れている」の割合が11.2%、「ときどき入れている」の割合が6.0%となっています。

N = 285



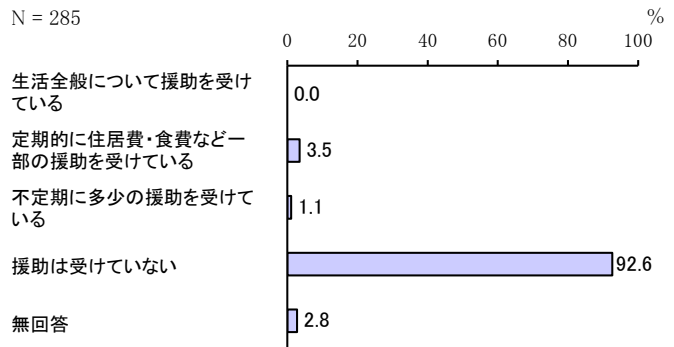
[性別 子どもへの仕送りの有無]

性別で見ると、女性で「まったく入れていない」の割合が、8割以上と男性に比べて高くなっています。



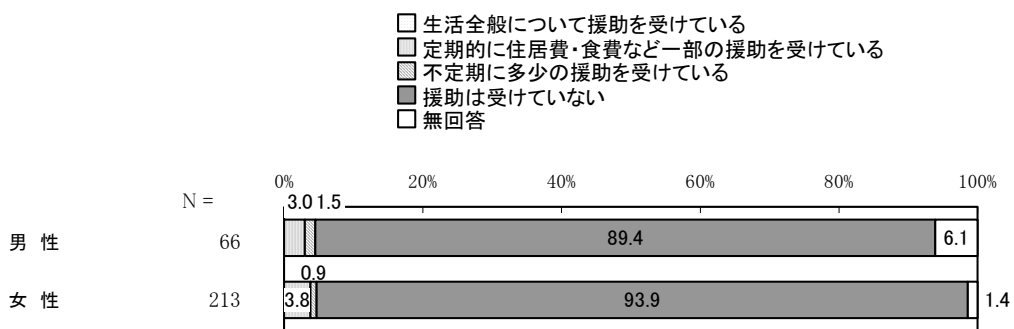
問3 あなたは、子どもから生活費の援助を受けていますか。(○は1つ)

「援助は受けていない」の割合が92.6%と最も高く、次いで「定期的に住居費・食費など一部の援助を受けている」の割合が3.5%、「不定期に多少の援助を受けている」の割合が1.1%となっています。



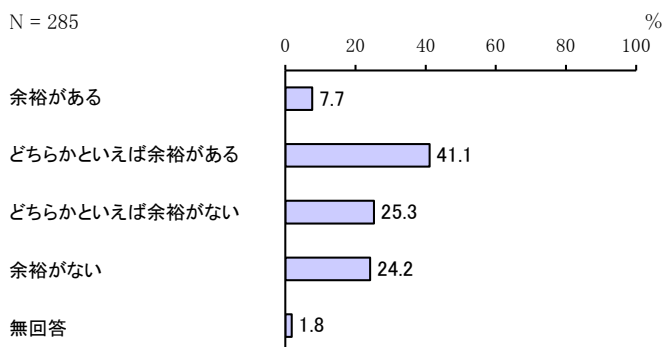
[性別 子どもからの生活費の援助の有無]

性別で見ると、男性、女性ともに「援助は受けていない」の割合が約9割と高くなっています。



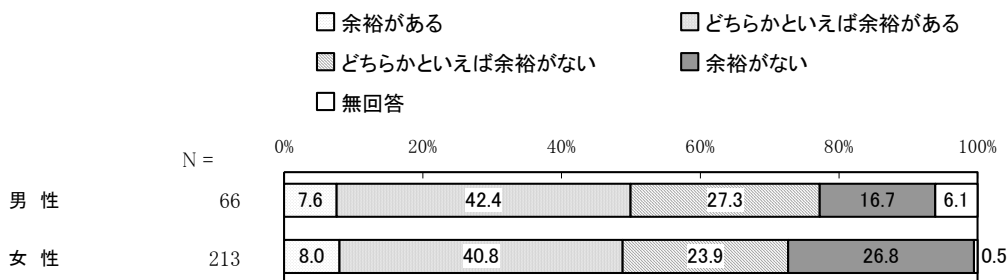
**問4 今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。(○は1つ)**

「どちらかといえば余裕がある」の割合が41.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば余裕がない」の割合が25.3%、「余裕がない」の割合が24.2%となっています。



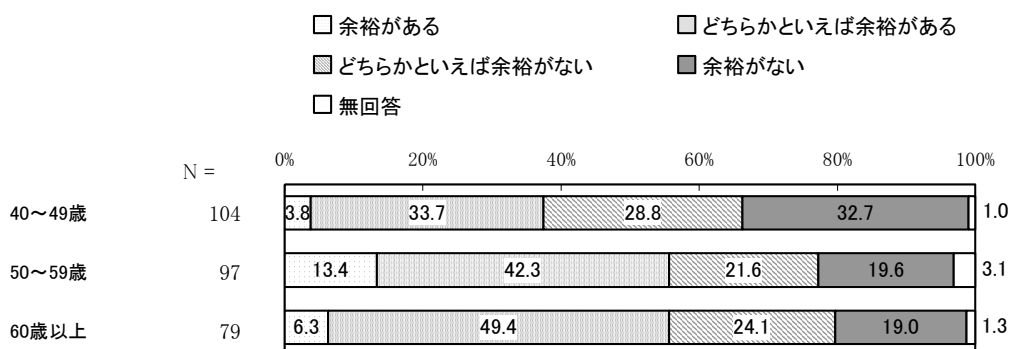
**[性別 経済的余裕の有無]**

性別で見ると、女性で「余裕がない」の割合が、約3割と男性に比べて高くなっています。



**[年齢別 経済的余裕の有無]**

年齢別で見ると、年齢が下がるにつれ、「余裕がない」の割合が高くなり、特に40～49歳では3割を超えています。

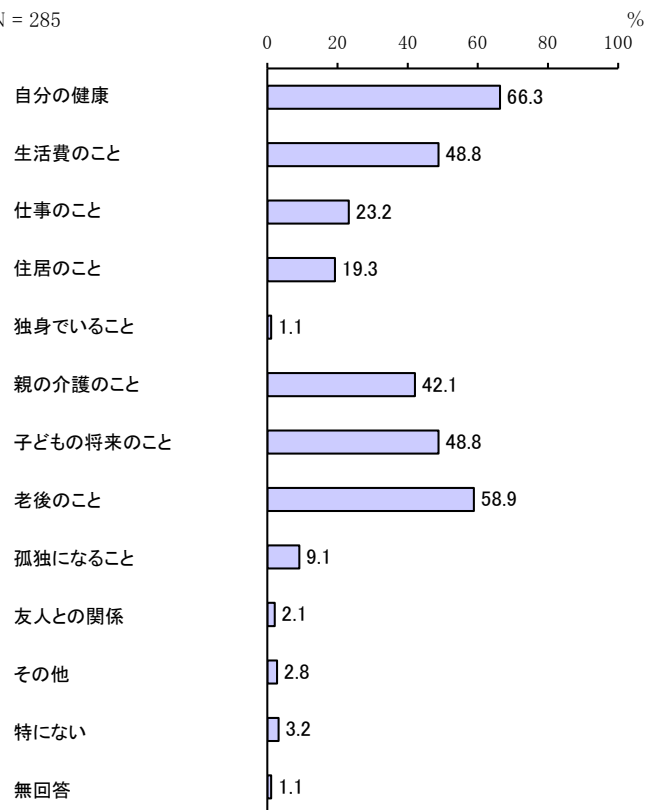


※30～39歳はサンプル数1のため、グラフからは除きます。

問5 あなたは、将来への不安にはどんなものがありますか。(〇はいくつでも)

「自分の健康」の割合が66.3%と最も高く、次いで「老後のこと」の割合が58.9%、「生活費のこと」「子どもの将来のこと」の割合がそれぞれ48.8%となっています。

N = 285





[性別 将来への不安]

性別で見ると、女性で「親の介護のこと」の割合が、5割以上と男性に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数 (件)	自分の健康	生活費のこと	仕事のこと	住居のこと	独身でいること	親の介護のこと	子どもの将来のこと	老後のこと	孤独になること	友人との関係	その他	特にない	無回答
男性	66	71.2	54.5	24.2	9.1	—	16.7	47.0	56.1	7.6	3.0	1.5	3.0	4.5
女性	213	65.7	47.9	23.0	23.0	1.4	50.7	49.3	59.6	9.4	1.9	3.3	3.3	—

[年齢別 将来への不安]

年齢別にみると、40～49歳で「親の介護のこと」「子どもの将来のこと」、50～59歳、60歳以上で「自分の健康」「老後のこと」の割合が、他の年齢に比べて高くなっています。

単位：%

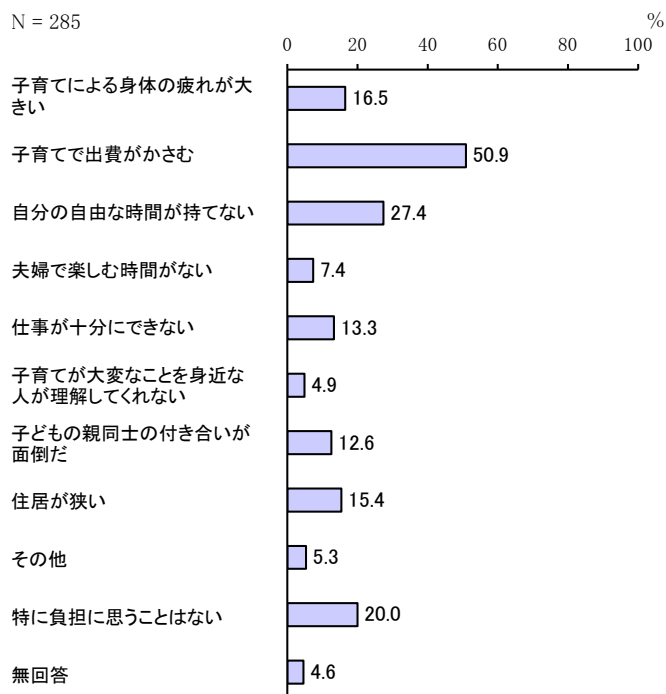
	有効回答数 (件)	自分の健康	生活費のこと	仕事のこと	住居のこと	独身でいること	親の介護のこと	子どもの将来のこと	老後のこと	孤独になること	友人との関係	その他	特にない	無回答
40～49歳	104	51.9	50.0	27.9	26.9	2.9	61.5	64.4	52.9	3.8	1.9	5.8	1.9	—
50～59歳	97	70.1	45.4	22.7	15.5	—	45.4	45.4	60.8	9.3	1.0	1.0	3.1	2.1
60歳以上	79	81.0	53.2	17.7	15.2	—	13.9	32.9	63.3	16.5	3.8	1.3	5.1	1.3

※30～39歳はサンプル数1のため、表からは除きます。

### (3) 子育てについて

問6 あなたがこれまでの子育てを通じて、特に負担を感じていること、悩んでいることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「子育てで出費がかさむ」の割合が50.9%と最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」の割合が27.4%、「特に負担に思うことはない」の割合が20.0%となっています。



[性別 子育ての負担等]

性別で見ると、男性で「夫婦で楽しむ時間がない」の割合が高く、女性で「仕事が十分にできない」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数（件）	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	自分の自由な時間が持てない	夫婦で楽しむ時間がない	仕事が十分にできない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	子どもの親同士の付き合いが面倒だ	住居が狭い	その他	特に負担に思うことはない	無回答
男性	66	10.6	50.0	24.2	15.2	3.0	1.5	7.6	15.2	3.0	18.2	9.1
女性	213	18.8	51.6	29.1	5.2	16.9	6.1	14.6	16.0	6.1	19.7	2.8

[年齢別 子育ての負担等]

年齢別で見ると、年齢が下がるにつれ、「仕事が十分にできない」「子どもの親同士の付き合いが面倒だ」の割合が高くなっています。また、年齢が上がるにつれ、「夫婦で楽しむ時間がない」「自分の自由な時間が持てない」「特に負担に思うことはない」の割合が高くなっています。

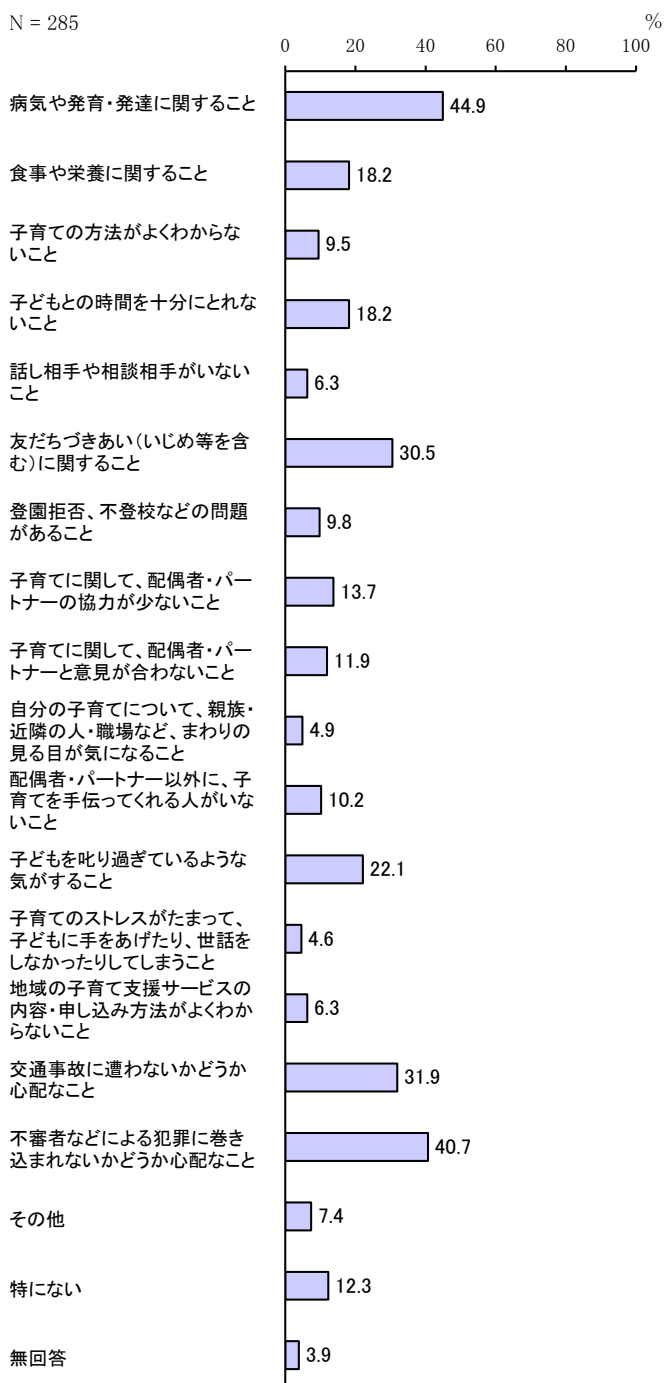
単位：%

	有効回答数（件）	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	自分の自由な時間が持てない	夫婦で楽しむ時間がない	仕事が十分にできない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	子どもの親同士の付き合いが面倒だ	住居が狭い	その他	特に負担に思うことはない	無回答
40～49 歳	104	19.2	66.3	24.0	4.8	18.3	4.8	15.4	17.3	3.8	16.3	—
50～59 歳	97	12.4	39.2	26.8	7.2	13.4	6.2	14.4	12.4	7.2	20.6	9.3
60 歳以上	79	19.0	44.3	34.2	11.4	7.6	3.8	7.6	17.7	5.1	22.8	5.1

※30～39 歳はサンプル数 1 のため、表からは除きます。

問7 あなたが、これまでに、子どものことで心配に感じたり、気になったりしたのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「病気や発育・発達に関すること」の割合が44.9%と最も高く、次いで「不審者などによる犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと」の割合が40.7%、「交通事故に遭わないかどうか心配なこと」の割合が31.9%となっています。



[性別 子に対する心配等]

性別で見ると、男性で「子どもとの時間を十分にとれないこと」の割合が高く、女性で「子育てに関して、配偶者・パートナーの協力が少ないこと」「子どもを叱り過ぎているような気がする」との割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数（件）	病気や発育・発達に関する事	食事や栄養に関する事	子育ての方法がよくわからないこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	友だちつきあい（いじめ等を含む）に関する事	登園拒否、不登校などの問題がある事	子育てに関して、配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関して、配偶者・パートナーと意見が合わないこと
男性	66	43.9	18.2	7.6	25.8	4.5	28.8	7.6	4.5	16.7
女性	213	46.5	18.3	10.3	16.0	7.0	31.5	10.8	16.9	10.8

	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など、まわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に、子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子どもを叱り過ぎているような気がする事	子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	子育てのストレスがよくわからないこと	地域の子育て支援サービスの内容・申し込み方法がよくわからないこと	交通事故に遭わないかどうか心配なこと	不審者などによる犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと	その他	特になし	無回答
男性	1.5	6.1	13.6	3.0	6.1	34.8	36.4	9.1	10.6	6.1	
女性	6.1	11.7	24.9	5.2	6.6	31.5	42.7	7.0	11.7	2.8	

[年齢別 子に対する心配等]

年齢別でみると、40～49歳で「病気や発育・発達に関すること」「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」「交通事故に遭わないかどうか心配なこと」「不審者などによる犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと」の割合が、他の年齢に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数（件）	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育ての方法がよくわからないこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	登園拒否、不登校などの問題があること	子育てに関して、配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関して、配偶者・パートナーと意見が合わないこと
40～49歳	104	50.0	21.2	13.5	16.3	7.7	34.6	9.6	14.4	12.5
50～59歳	97	43.3	16.5	5.2	16.5	5.2	28.9	9.3	16.5	11.3
60歳以上	79	41.8	16.5	10.1	22.8	6.3	27.8	11.4	10.1	12.7

	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など、まわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に、子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子どもを叱り過ぎているような気がする	子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	子育てのサポートが足りないこと	地域の子育て支援サービスの内容・申し込み方法がよくわからないこと	交通事故に遭わないかどうか心配なこと	不審者などによる犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと	その他	特になし	無回答
40～49歳	6.7	9.6	26.9	3.8	6.7	35.6	51.0	8.7	7.7	—	
50～59歳	4.1	13.4	21.6	4.1	5.2	27.8	38.1	3.1	13.4	8.2	
60歳以上	3.8	7.6	16.5	6.3	7.6	32.9	31.6	11.4	15.2	3.8	

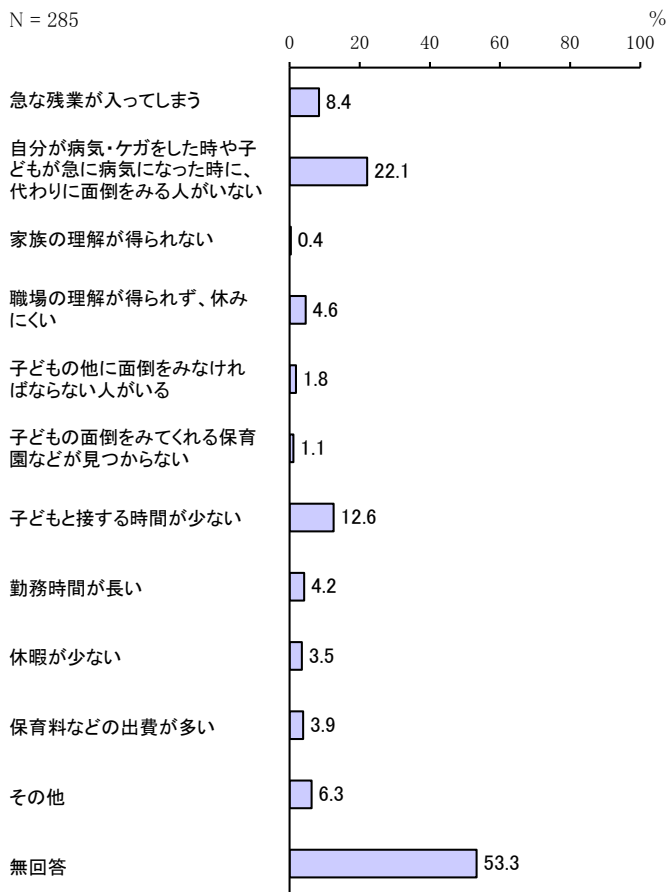
※30～39歳はサンプル数1のため、表からは除きます。

働きながら子育てをしている方または働きながら子育てをしていた方におうかがいします。

問8 あなたが仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることはどのようなことですか。(〇は主なもの2つまで)

「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に、代わりに面倒をみる人がいない」の割合が22.1%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」の割合が12.6%、「急な残業が入ってしまう」の割合が8.4%となっています。

N = 285



[性別 仕事と子育ての両立の困難内容]

性別で見ると、男性、女性ともに「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に、代わりに面倒をみる人がいない」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	急な残業が入ってしまう	自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に、代わりに面倒をみる人がいない	家族の理解が得られない	職場の理解が得られず、休みにくい	子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる	子どもの面倒をみてくれる保育園などが見つからない
男性	66	6.1	18.2	—	3.0	3.0	1.5
女性	213	9.4	23.9	0.5	5.2	0.9	0.9

	子どもと接する時間が少ない	勤務時間が長い	休暇が少ない	保育料などの出費が多い	その他	無回答
男性	15.2	7.6	4.5	7.6	6.1	53.0
女性	11.7	3.3	3.3	2.8	6.6	53.1



[年齢別 仕事と子育ての両立の困難内容]

年齢別で見ると、年齢が下がるにつれ、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に、代わりに面倒をみる人がいない」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	急な残業が入ってしまう	自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に、代わりに面倒をみる人がいない	家族の理解が得られない	職場の理解が得られず、休みにくい	子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる	子どもの面倒をみてくれる保育園などが見つからない
40～49 歳	104	9.6	31.7	—	4.8	1.0	1.0
50～59 歳	97	10.3	17.5	1.0	4.1	2.1	—
60 歳以上	79	5.1	16.5	—	5.1	1.3	2.5

	子どもと接する時間が少ない	勤務時間が長い	休暇が少ない	保育料などの出費が多い	その他	無回答
40～49 歳	14.4	3.8	5.8	2.9	7.7	41.3
50～59 歳	9.3	3.1	—	3.1	4.1	63.9
60 歳以上	13.9	6.3	5.1	6.3	7.6	55.7

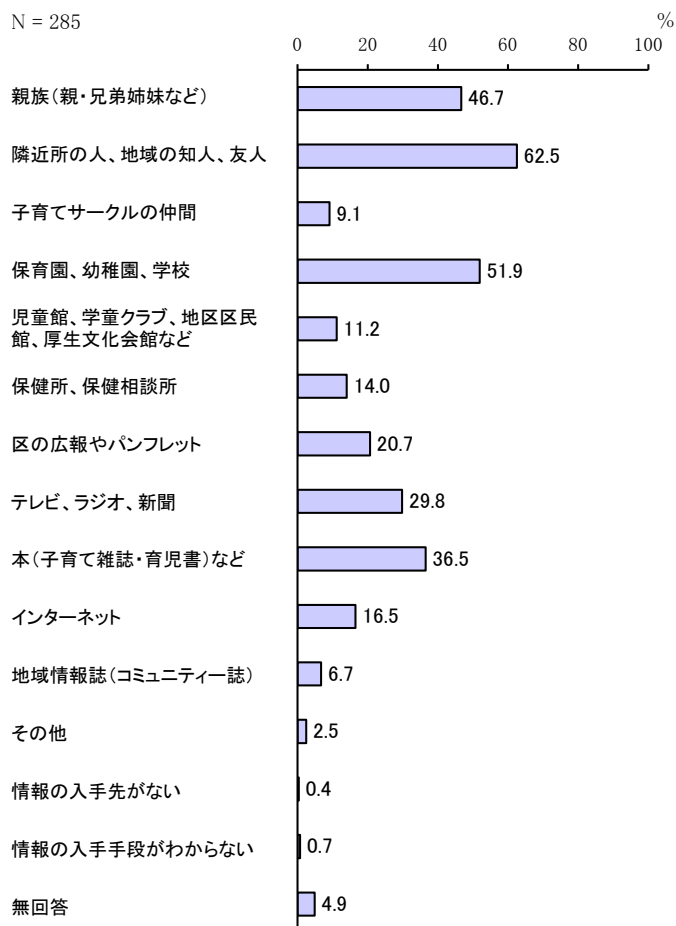
※30～39 歳はサンプル数 1 のため、表からは除きます。

#### (4) 子育てに関する情報、相談等について

すべての方におうかがいします。

問9 あなたは子育てに関する情報を、どこから入手されてきましたか。(〇はいくつでも)

「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が62.5%と最も高く、次いで「保育園、幼稚園、学校」の割合が51.9%、「親族(親・兄弟姉妹など)」の割合が46.7%となっています。



[性別 子育て情報の入手先]

性別で見ると、男性で「テレビ、ラジオ、新聞」の割合が高く、女性で「隣近所の人、地域の知人、友人」「本（子育て雑誌・育児書）など」の割合が高くなっています。

単位：％

	有効回答数（件）	親族（親・兄弟姉妹など）	隣近所の人、地域の知人、友人	子育てサークルの仲間	保育園、幼稚園、学校	児童館、学童クラブ、地区 区民館、厚生文化会館など	保健所、保健相談所	区の広報やパンフレット
男性	66	47.0	43.9	3.0	40.9	7.6	7.6	18.2
女性	213	47.4	68.5	10.8	56.8	12.2	15.5	21.6

	テレビ、ラジオ、新聞	本（子育て雑誌・育児書） など	インターネット	地域情報誌（コミュニティ誌）	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答
男性	34.8	19.7	15.2	6.1	1.5	1.5	—	7.6
女性	28.2	41.8	16.9	7.0	2.8	—	0.9	3.8

[年齢別 子育て情報の入手先]

年齢別でみると、年齢が下がるにつれ、「保育園、幼稚園、学校」「児童館、学童クラブ、地区区民館、厚生文化会館など」「区の広報やパンフレット」「本（子育て雑誌・育児書）など」「インターネット」「地域情報誌（コミュニティー誌）」の割合が高くなっています。

単位：％

	有効回答数 (件)	親族 (親・兄弟姉妹など)	友人 隣近所の人、地域の知人	子育てサークルの仲間	保育園、幼稚園、学校	児童館、学童クラブ、地区 区民館、厚生文化会館など	保健所、保健相談所	区の広報やパンフレット
40～49 歳	104	48.1	72.1	11.5	59.6	13.5	16.3	24.0
50～59 歳	97	43.3	53.6	7.2	52.6	12.4	12.4	23.7
60 歳以上	79	49.4	60.8	7.6	43.0	6.3	11.4	12.7

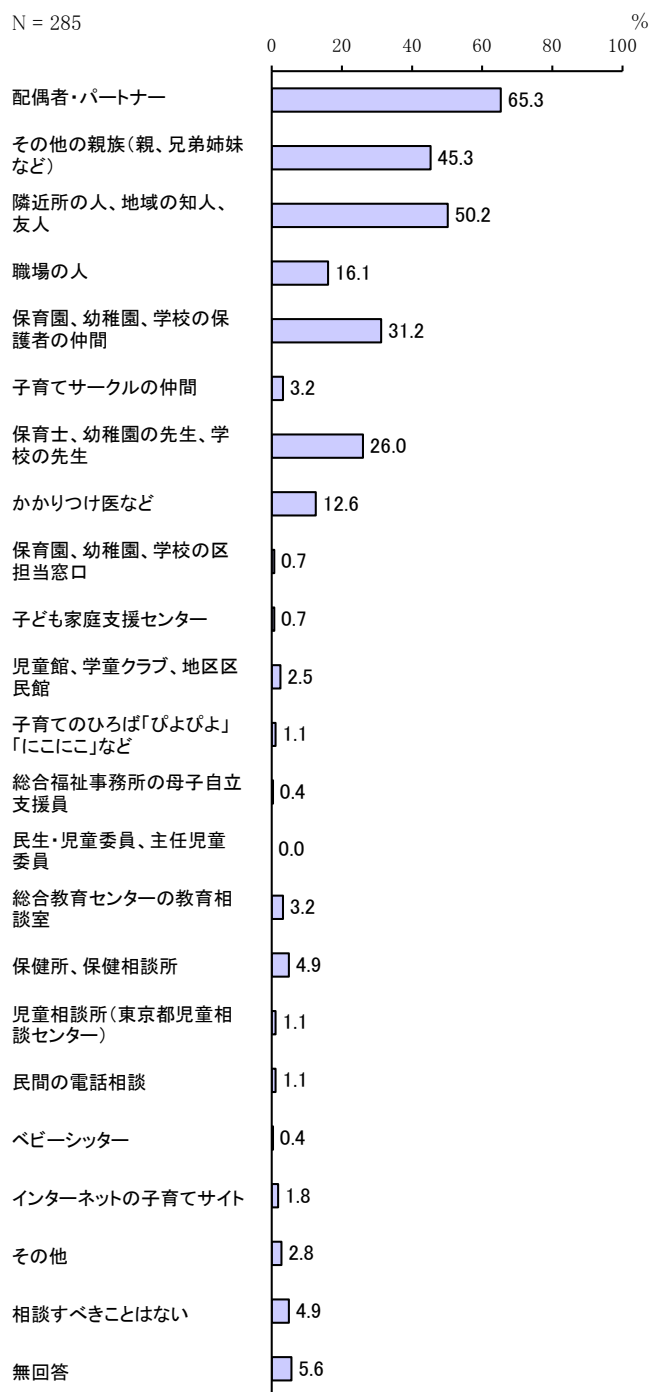
	テレビ、ラジオ、新聞	本 (子育て雑誌・育児書) など	インターネット	地域情報誌 (コミュニティー誌)	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答
40～49 歳	27.9	48.1	26.0	8.7	1.0	—	1.0	1.0
50～59 歳	32.0	32.0	15.5	6.2	5.2	—	—	7.2
60 歳以上	29.1	26.6	5.1	5.1	1.3	1.3	1.3	7.6

※30～39 歳はサンプル数 1 のため、表からは除きます。

問10 あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談していたのは誰ですか。(〇はいくつでも)

「配偶者・パートナー」の割合が65.3%と最も高く、次いで「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が50.2%、「その他の親族(親、兄弟姉妹など)」の割合が45.3%となっています。

N = 285



[性別 子育てに関する相談先]

性別で見ると、女性で「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」「隣近所の人、地域の知人、友人」「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」の割合が、男性に比べて高くなっています。

単位：%

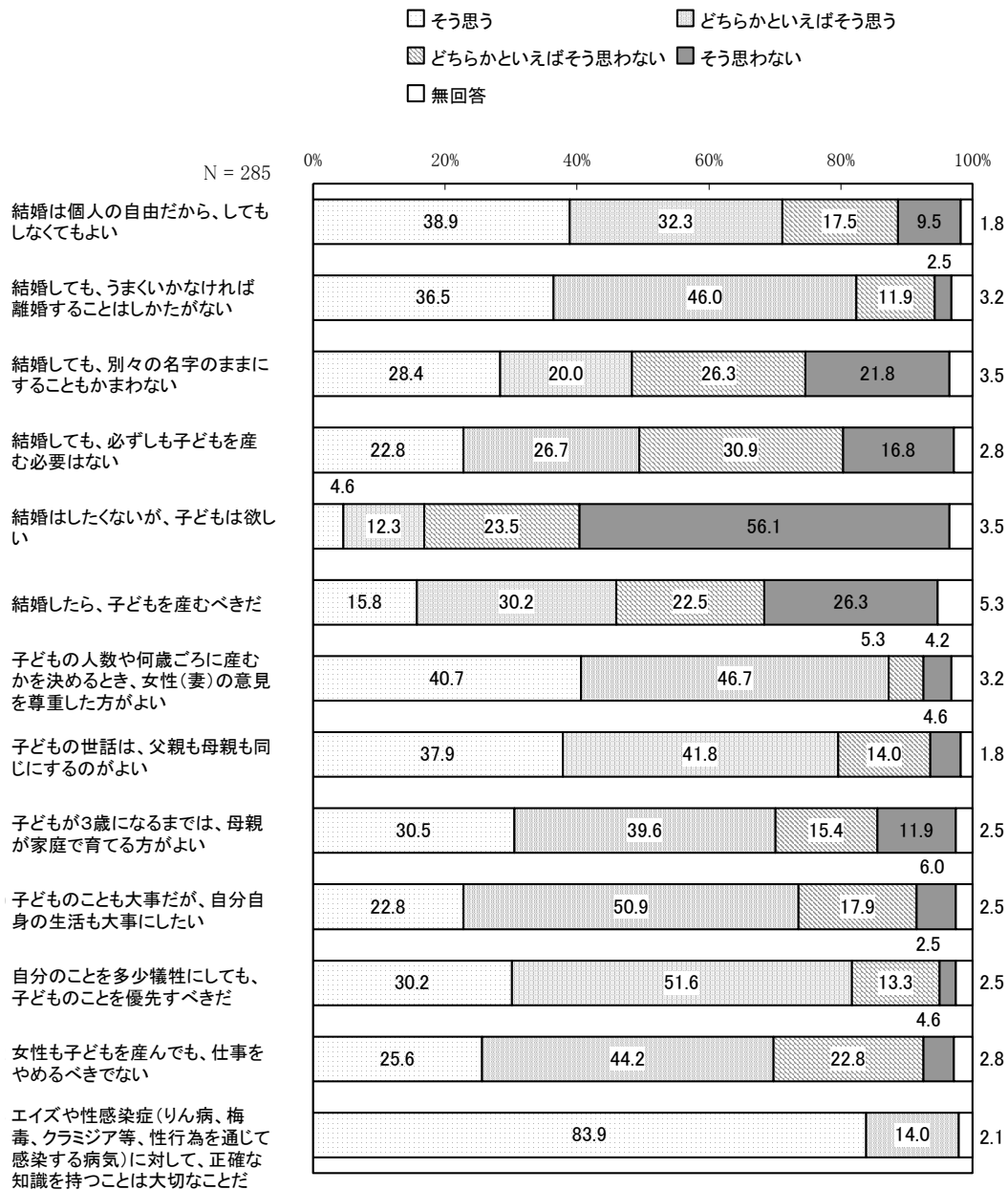
	有効回答数（件）	配偶者・パートナー	その他の親族（親、兄弟姉妹など）	隣近所の人、地域の知人、友人	職場の人	保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	子育てサークルの仲間	保育士、幼稚園の先生、学校の先生	かかりつけ医など	保育園、幼稚園、学校の区担当窓口	子ども家庭支援センター	児童館、学童クラブ、地区区民館
男性	66	69.7	39.4	31.8	13.6	15.2	—	22.7	10.6	—	—	3.0
女性	213	63.8	46.5	56.3	17.4	36.2	3.8	27.7	13.6	0.9	0.9	2.3

	子育てのひろば「ぴよぴよ」「にこにこ」など	総合福祉事務所の母子自立支援員	民生・児童委員、主任児童委員	総合教育センターの教育相談室	保健所、保健相談所	児童相談所（東京都児童相談センター）	民間の電話相談	ベビーシッター	インターネットの子育てサイト	その他	相談すべきことはない	無回答
男性	—	—	—	—	1.5	1.5	—	—	—	3.0	9.1	6.1
女性	1.4	0.5	—	4.2	5.6	0.9	1.4	0.5	2.3	2.8	3.3	5.2

## (5) 結婚や子育てについて

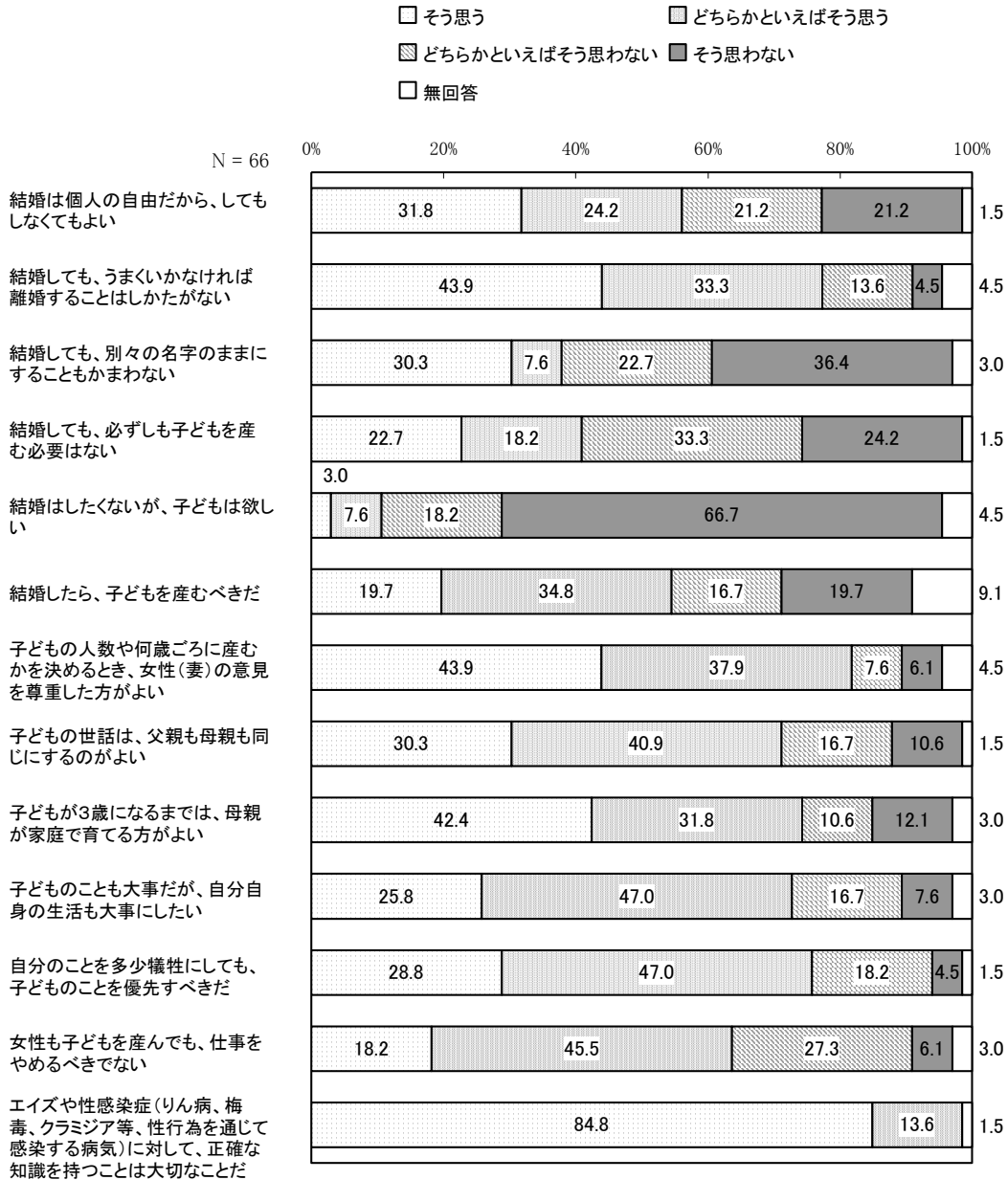
問 11 あなたは、結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。  
(それぞれ○は1つ)

「結婚しても、別々の名字のままにすることもかまわない」「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」「結婚したら、子どもを産むべきだ」で「そう思わない」の割合が高くなっています。



[男性 結婚や子育てに関する考え方]

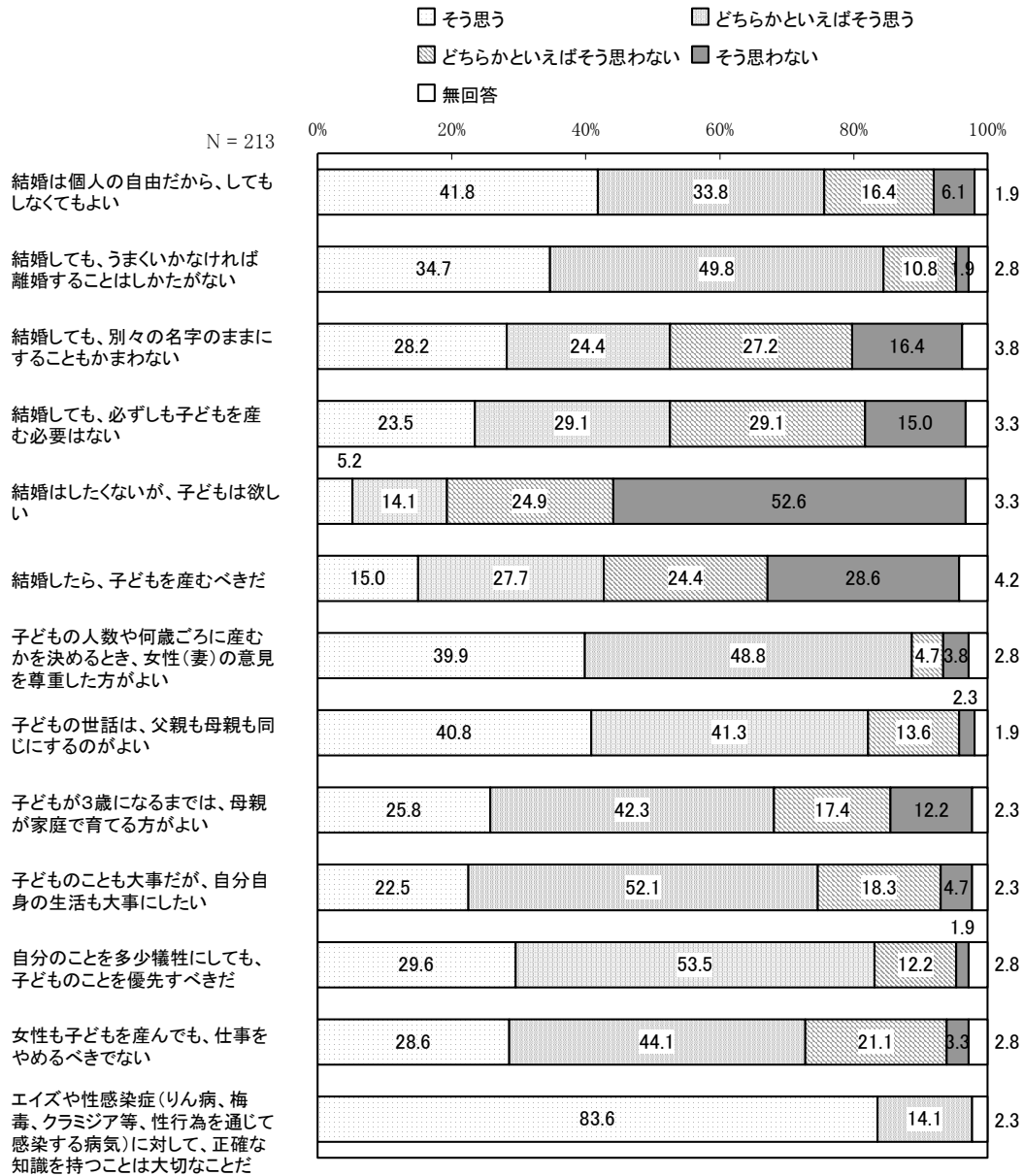
「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「結婚しても、別々の名字のままにすることもかまわない」「結婚しても、必ずしも子どもを産む必要はない」「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」で、「そう思わない」の割合が高くなっています。





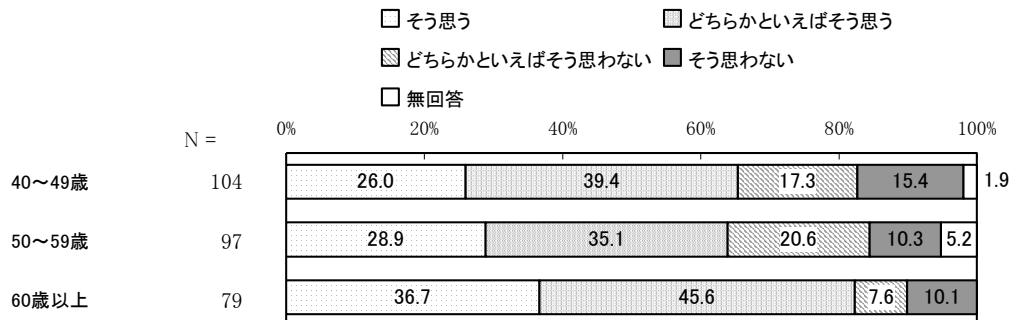
[女性 結婚や子育てに関する考え方]

「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」「結婚したら、子どもを産むべきだ」で、「そうは思わない」の割合が高くなっています。



[年齢別 子どもが3歳になるまで、母親が家庭で育てる方がよいとの考え]

年齢別でみると、年齢があがるにつれ、「そう思う」の割合が高くなっています。



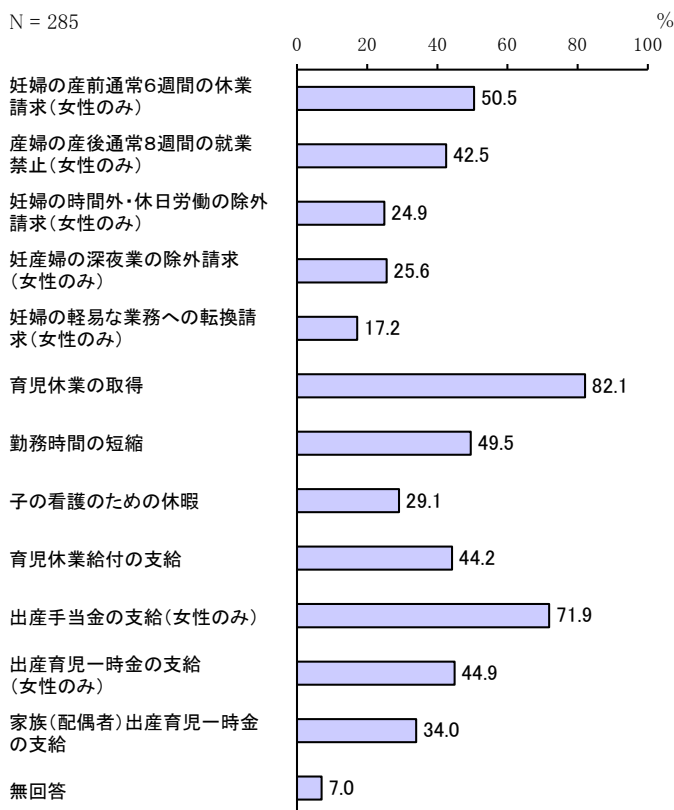
※30~39歳はサンプル数1のため、表からは除きます。

## (6) 労働・社会保険等による支援の周知状況について

問 12 あなたは、妊産婦や子育て中の労働者に対して、労働・社会保険等による次のような支援があることを知っていますか。(〇はいくつでも)

「育児休業の取得」の割合が 82.1%と最も高く、次いで「出産手当金の支給（女性のみ）」の割合が 71.9%、「妊婦の産前通常 6 週間の休業請求（女性のみ）」の割合が 50.5%となっています。

N = 285



### [性別 労働・社会保険等の支援の認知]

性別で見ると、女性で「出産手当金の支給（女性のみ）」「出産育児一時金の支給（女性のみ）」の割合が、男性に比べて高くなっています。

単位：%

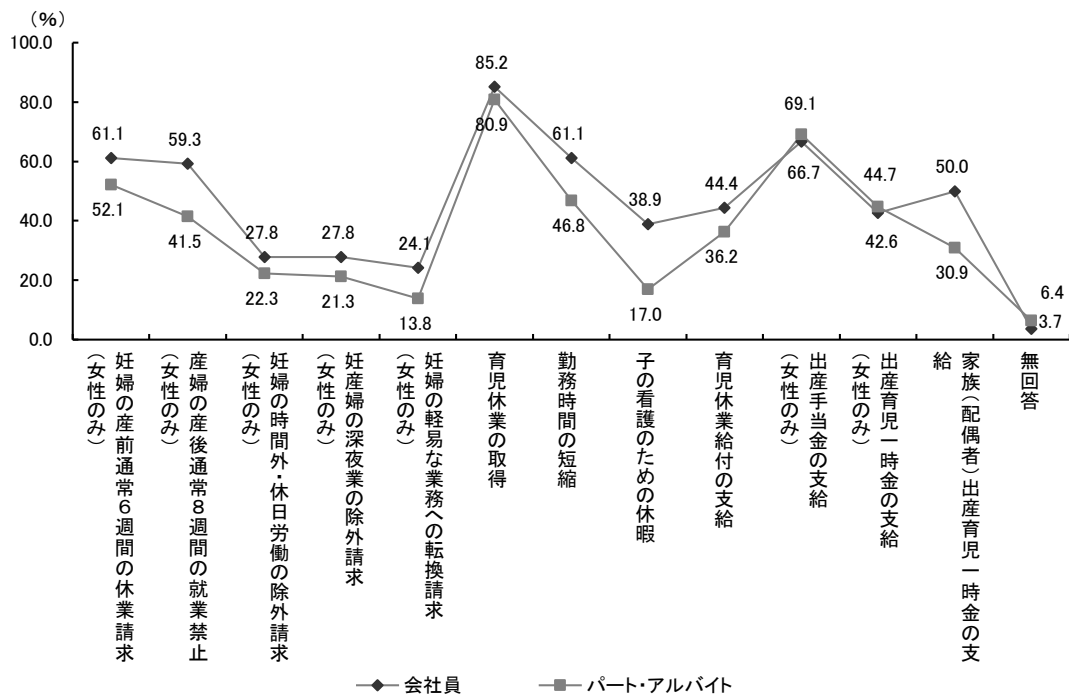
	有効回答数(件)	妊婦の産前通常6週間の休業請求(女性のみ)	産婦の産後通常8週間の就業禁止(女性のみ)	妊婦の時間外・休日労働の除外請求(女性のみ)	妊産婦の深夜業の除外請求(女性のみ)	妊婦の軽易な業務への転換請求(女性のみ)	育児休業の取得	勤務時間の短縮	子の看護のための休暇	育児休業給付の支給	出産手当金の支給(女性のみ)	出産育児一時金の支給(女性のみ)	家族(配偶者)出産育児一時金の支給	無回答
男性	66	45.5	36.4	30.3	31.8	16.7	84.8	54.5	39.4	45.5	63.6	34.8	39.4	9.1
女性	213	52.1	44.6	23.0	23.5	17.8	80.8	48.4	25.4	43.7	73.7	47.4	32.9	6.6

[職業別 労働・社会保険等の支援の認知]

職業別にみると、公務員・団体職員で「家族（配偶者）出産育児一時金の支給」を除くすべての項目の割合が、他の職業に比べ最も高くなっています。

単位：%

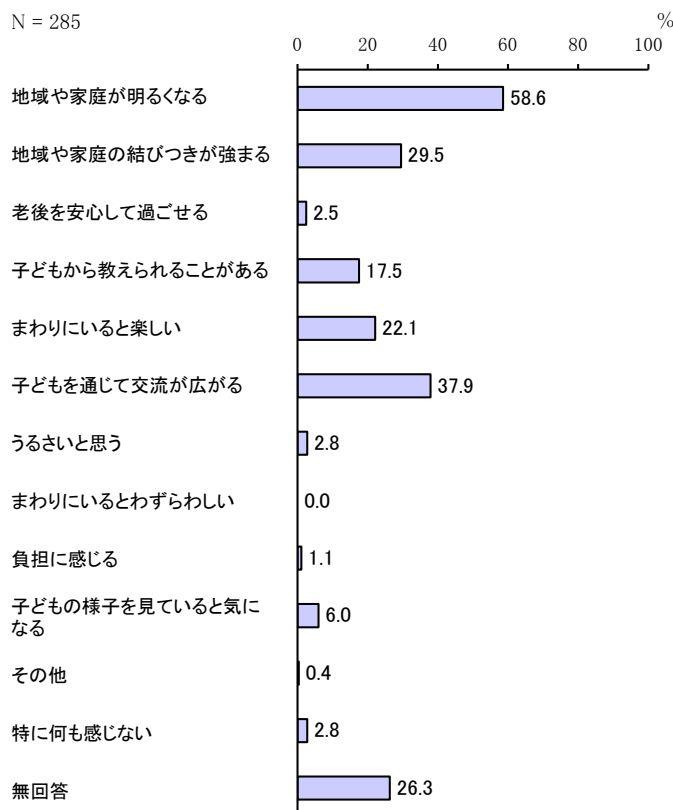
	有効回答数（件）	妊婦の産前通常6週間の休業請求（女性のみ）	産婦の産後通常8週間の就業禁止（女性のみ）	妊婦の時間外・休日労働の除外請求（女性のみ）	妊産婦の深夜業の除外請求（女性のみ）	妊婦の軽易な業務への転換請求（女性のみ）	育児休業の取得	勤務時間の短縮	子の看護のための休暇	育児休業給付の支給	出産手当金の支給（女性のみ）	出産育児一時金の支給（女性のみ）	家族（配偶者）出産育児一時金の支給	無回答
会社員	54	61.1	59.3	27.8	27.8	24.1	85.2	61.1	38.9	44.4	66.7	42.6	50.0	3.7
自営業	28	28.6	17.9	14.3	17.9	10.7	78.6	32.1	25.0	32.1	71.4	50.0	25.0	10.7
公務員・団体職員	17	94.1	64.7	64.7	76.5	35.3	100.0	88.2	94.1	88.2	88.2	64.7	29.4	—
パート・アルバイト	94	52.1	41.5	22.3	21.3	13.8	80.9	46.8	17.0	36.2	69.1	44.7	30.9	6.4
無職	65	36.9	33.8	18.5	20.0	15.4	80.0	35.4	21.5	43.1	72.3	36.9	26.2	10.8
その他	19	42.1	31.6	21.1	21.1	10.5	73.7	63.2	31.6	57.9	84.2	47.4	36.8	10.5



## (7) 地域交流について

問 13 あなたは家族や地域社会など、自分の周りに子どもがいることをどう思いますか。  
(○は主なもの3つまで)

「地域や家庭が明るくなる」の割合が58.6%と最も高く、次いで「子どもを通じて交流が広がる」の割合が37.9%、「地域や家庭の結びつきが強まる」の割合が29.5%となっています。



### [性別 周りに子がいることについて思うこと]

性別で見ると、男性で「地域や家庭が明るくなる」「地域や家庭の結びつきが強まる」の割合が、女性に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	地域や家庭が明るくなる	地域や家庭の結びつきが強まる	老後を安心して過ごせる	子どもから教えられることがある	まわりにいると楽しい	子どもを通じて交流が広がる	うるさいと思う	まわりにいるとわずらわしい	負担に感じる	子どもの様子を見ていると気になる	その他	特に何も感じない	無回答
男性	66	72.7	54.5	6.1	18.2	25.8	39.4	1.5	—	3.0	7.6	—	1.5	9.1
女性	213	54.5	22.5	1.4	17.8	20.7	37.6	3.3	—	0.5	5.2	0.5	3.3	31.5

[年齢別 周りに子供がいることについて思うこと]

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ、「地域や家庭が明るくなる」「地域や家庭の結びつきが強まる」「老後を安心して過ごせる」「まわりにいると楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	地域や家庭が明るくなる	地域や家庭の結びつきが強まる	老後を安心して過ごせる	子どもから教えられることがある	まわりにいると楽しい	子どもを通じて交流が広がる	うるさいと思う	まわりにいるとわずらわしい	負担を感じる	子どもの様子を見てみると気になる	その他	特に何も感じない	無回答
40～49 歳	104	51.0	23.1	1.0	21.2	14.4	36.5	2.9	—	1.0	3.8	1.0	4.8	31.7
50～59 歳	97	57.7	26.8	3.1	12.4	24.7	41.2	2.1	—	—	6.2	—	3.1	26.8
60 歳以上	79	70.9	43.0	3.8	20.3	29.1	36.7	3.8	—	2.5	8.9	—	—	16.5

※30～39 歳はサンプル数 1 のため、表からは除きます。

[居住地区別 周りに子供がいることについて思うこと]

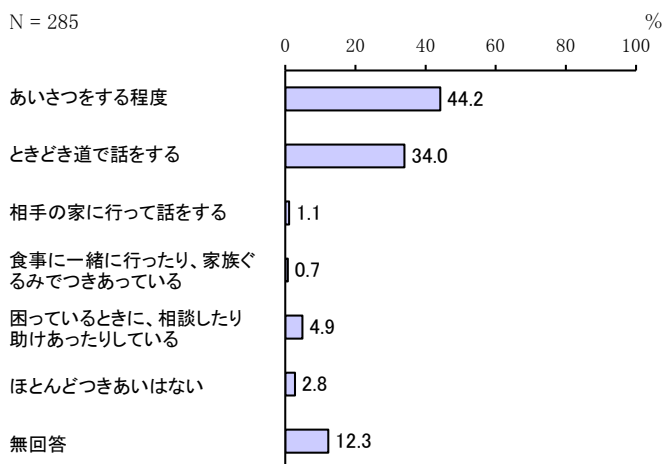
居住地区別でみると、光が丘、石神井で「子どもを通じて交流が広がる」の割合が、4割以上と他の居住地区に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	地域や家庭が明るくなる	地域や家庭の結びつきが強まる	老後を安心して過ごせる	子どもから教えられることがある	まわりにいると楽しい	子どもを通じて交流が広がる	うるさいと思う	まわりにいるとわずらわしい	負担を感じる	子どもの様子を見てみると気になる	その他	特に何も感じない	無回答
練馬	58	58.6	27.6	5.2	17.2	22.4	27.6	1.7	—	1.7	8.6	—	3.4	29.3
光が丘	93	61.3	32.3	1.1	16.1	22.6	41.9	4.3	—	1.1	5.4	—	1.1	23.7
石神井	71	66.2	32.4	—	26.8	22.5	47.9	2.8	—	1.4	8.5	1.4	—	18.3
大泉	58	44.8	24.1	5.2	10.3	20.7	29.3	1.7	—	—	1.7	—	8.6	36.2

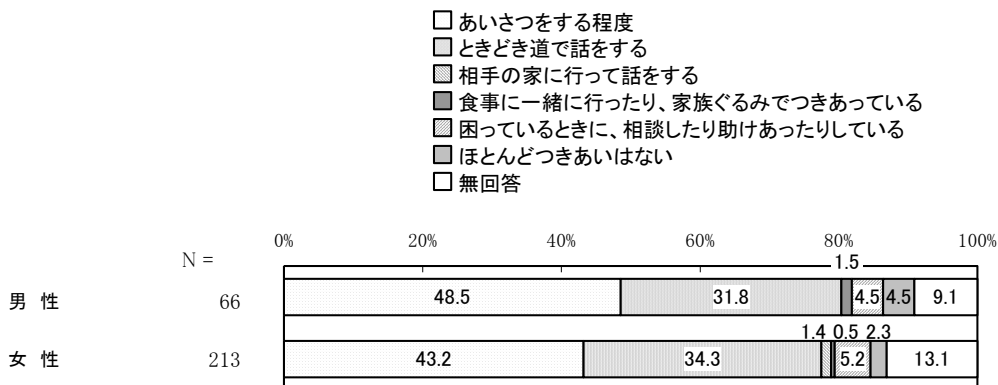
問 14 あなたの近所とおつきあいはどうですか。(○は主なもの1つ)

「あいさつをする程度」の割合が 44.2% と最も高く、次いで「ときどき道で話をする」の割合が 34.0% となっています。



[性別 近所とのつきあいの状況]

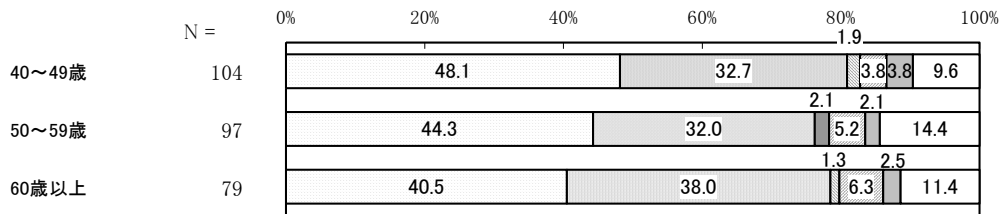
性別でみると、男性で「あいさつをする程度」の割合が、女性に比べてやや高くなっています。



[年齢別 近所とのつきあいの状況]

年齢別でみると、60歳以上で「ときどき道で話をする」「困っているときに、相談したり助けあったりしている」の割合が、他の年齢に比べ高くなっています。

- あいさつをする程度
- ときどき道で話をする
- 相手の家に行って話をする
- 食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている
- 困っているときに、相談したり助けあったりしている
- ほとんどつきあいはない
- 無回答

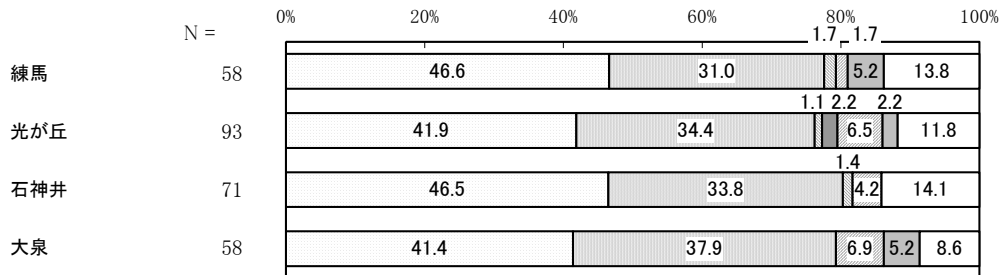


※30～39歳はサンプル数1のため、表からは除きます。

[居住地区別 近所とのつきあいの状況]

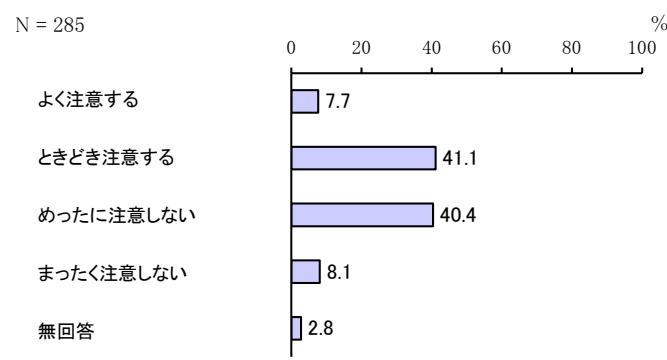
居住地区別にみると、練馬、石神井で「あいさつをする程度」の割合が、他の居住地区に比べてやや高くなっています。

- あいさつをする程度
- ときどき道で話をする
- 相手の家に行って話をする
- 食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている
- 困っているときに、相談したり助けあったりしている
- ほとんどつきあいはない
- 無回答



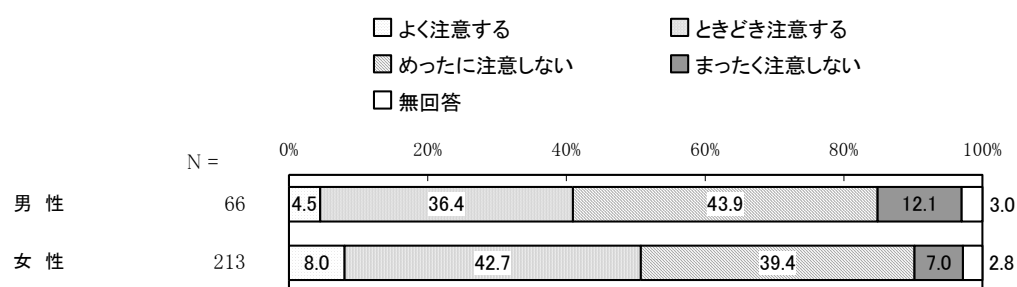
**問 15 あなたは、よその子どものいたずらやいじめなどに対して、注意をしますか。**  
(○は1つ)

「ときどき注意する」の割合が41.1%と最も高く、次いで「めったに注意しない」の割合が40.4%となっています。



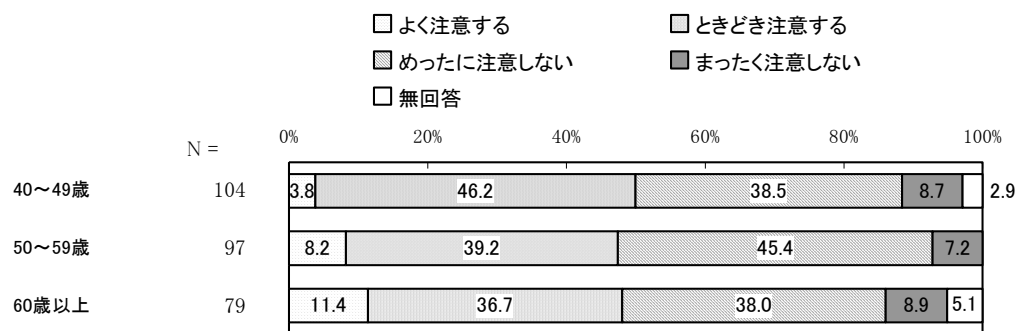
**[性別 よその子へ注意するか]**

性別でみると、男性で「まったく注意しない」の割合が、女性に比べて高くなっています。



**[年齢別 よその子へ注意するか]**

年齢別でみると、年齢があがるにつれ、「よく注意する」の割合が高くなっています。

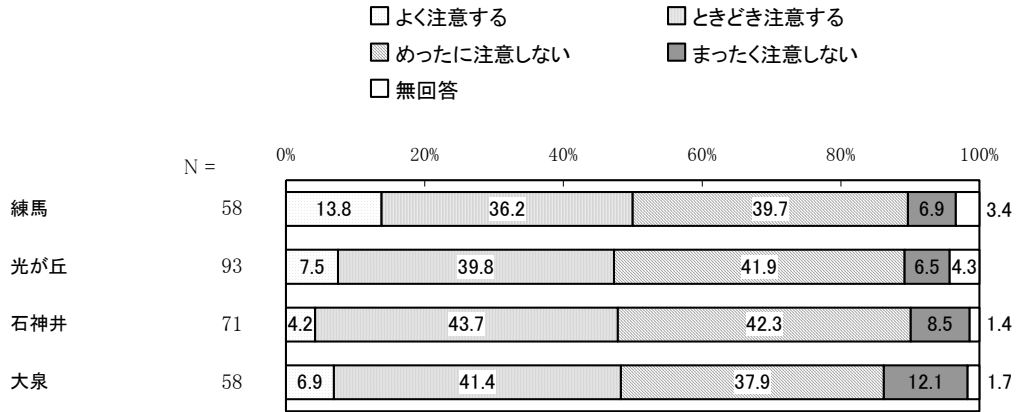


※30~39歳はサンプル数1のため、表からは除きます。



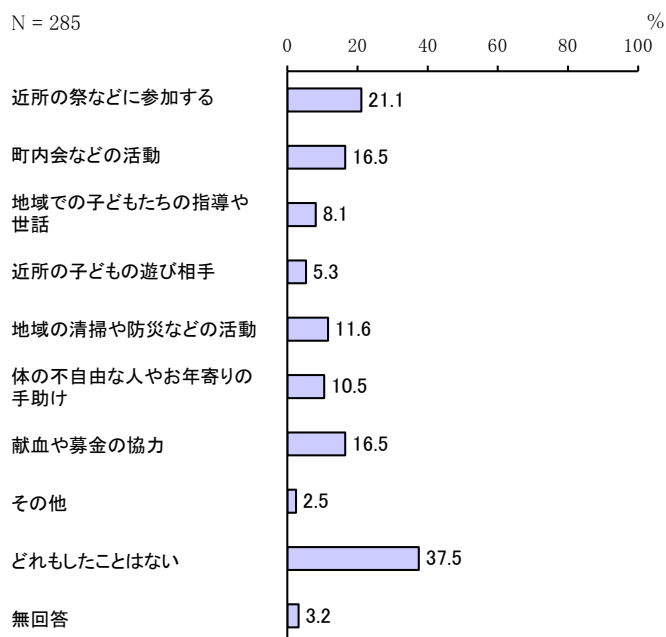
[居住地区別 よその子へ注意するか]

居住地区別で見ると、練馬で「よく注意する」の割合が、1割以上と他の居住地区に比べて高くなっています。



問 16 あなたは、この1年間で次のような地域活動をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

「どれもしたことはない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「近所の祭などに参加する」の割合が21.1%、「町内会などの活動」「献血や募金の協力」の割合がそれぞれ16.5%となっています。



[性別 地域活動への参加状況]

性別で見ると、男性で「町内会などの活動」の割合が高く、女性で「献血や募金の協力」の割合が高くなっています。また、男性で「どれもしたことはない」の割合が、女性に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	近所の祭などに参加する	町内会などの活動	地域での子どもたちの指導や世話	近所の子どもの遊び相手	地域の清掃や防災などの活動	体の不自由な人やお年寄りの手助け	献血や募金の協力	その他	どれもしたことはない	無回答
男性	66	18.2	21.2	1.5	3.0	13.6	7.6	9.1	1.5	48.5	4.5
女性	213	20.7	14.6	9.9	4.7	10.3	11.7	18.8	2.8	34.7	2.8

[年齢別 地域活動への参加状況]

年齢別で見ると、年齢が下がるにつれ、「近所の祭などに参加する」の割合が高く、年齢が高くなるにつれ、「町内会などの活動」の割合が高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	近所の祭などに参加する	町内会などの活動	地域での子どもたちの指導や世話	近所の子どもの遊び相手	地域の清掃や防災などの活動	体の不自由な人やお年寄りの手助け	献血や募金の協力	その他	いれもしたことはない	無回答
40～49歳	104	22.1	12.5	10.6	2.9	10.6	10.6	18.3	1.0	37.5	1.9
50～59歳	97	20.6	14.4	8.2	3.1	10.3	9.3	15.5	2.1	41.2	2.1
60歳以上	79	17.7	22.8	3.8	8.9	13.9	12.7	15.2	5.1	34.2	5.1

※30～39歳はサンプル数1のため、表からは除きます。

[居住地区別 地域活動への参加状況]

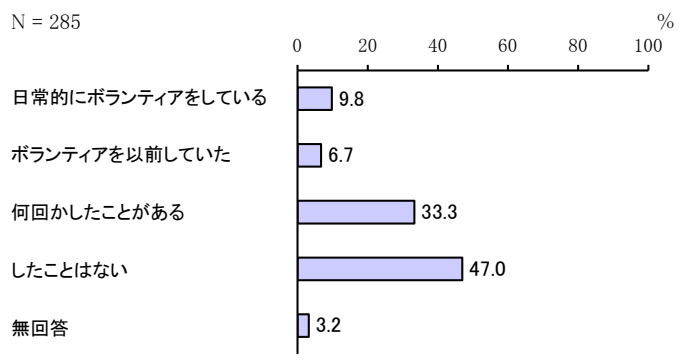
居住地区別で見ると、大泉で「近所の祭などに参加する」の割合が、約3割と他の居住地区に比べて高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	近所の祭などに参加する	町内会などの活動	地域での子どもたちの指導や世話	近所の子どもの遊び相手	地域の清掃や防災などの活動	体の不自由な人やお年寄りの手助け	献血や募金の協力	その他	いれもしたことはない	無回答
練馬	58	20.7	13.8	5.2	8.6	12.1	12.1	20.7	3.4	32.8	5.2
光が丘	93	20.4	17.2	9.7	2.2	10.8	8.6	15.1	2.2	39.8	3.2
石神井	71	14.1	18.3	8.5	5.6	12.7	12.7	18.3	1.4	40.8	4.2
大泉	58	25.9	12.1	6.9	5.2	8.6	8.6	12.1	3.4	36.2	—

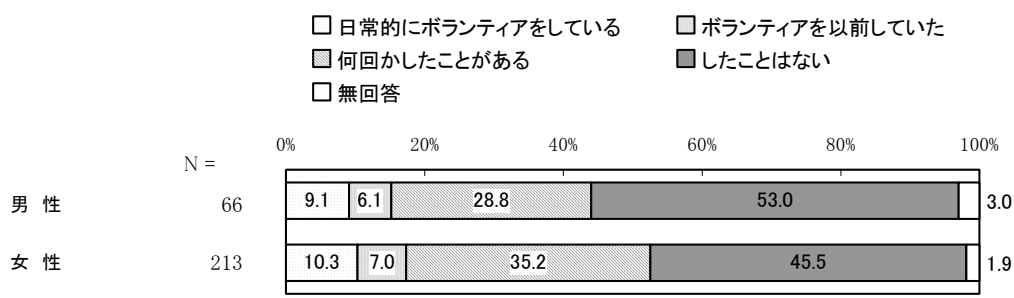
**問 17 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)**

「したことはない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「何回かしたことがある」の割合が33.3%なっています。



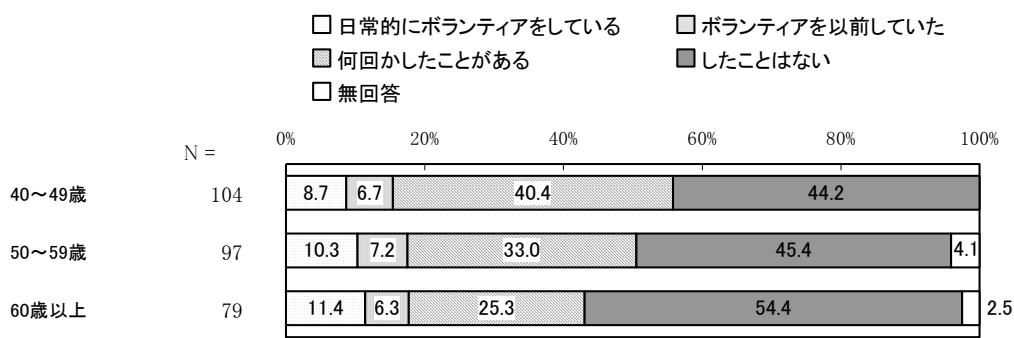
**[性別 ボランティア活動への参加の有無]**

性別で見ると、女性で「何回かしたことがある」の割合が、約4割と男性に比べて高くなっています。



**[年齢別 ボランティア活動への参加の有無]**

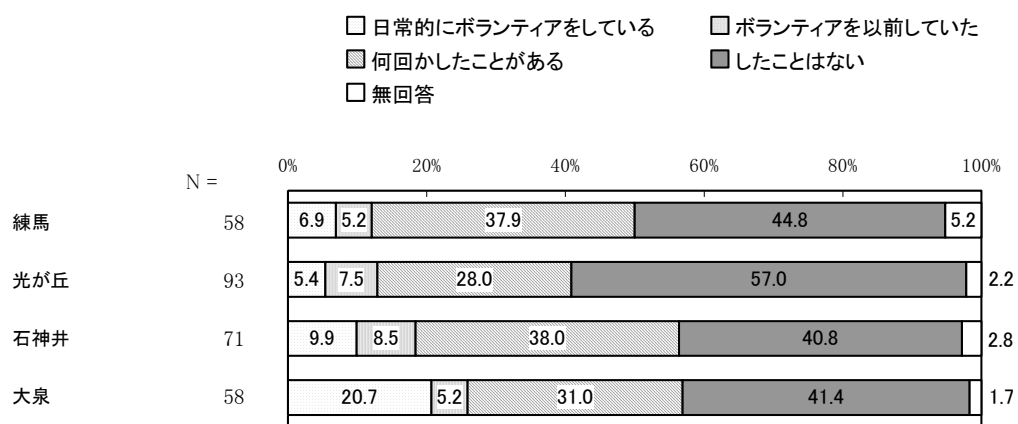
年齢別で見ると、年齢が上がるにつれ、「日常的にボランティアをしている」の割合が高くなっています。



※30~39歳はサンプル数1のため、表からは除きます。

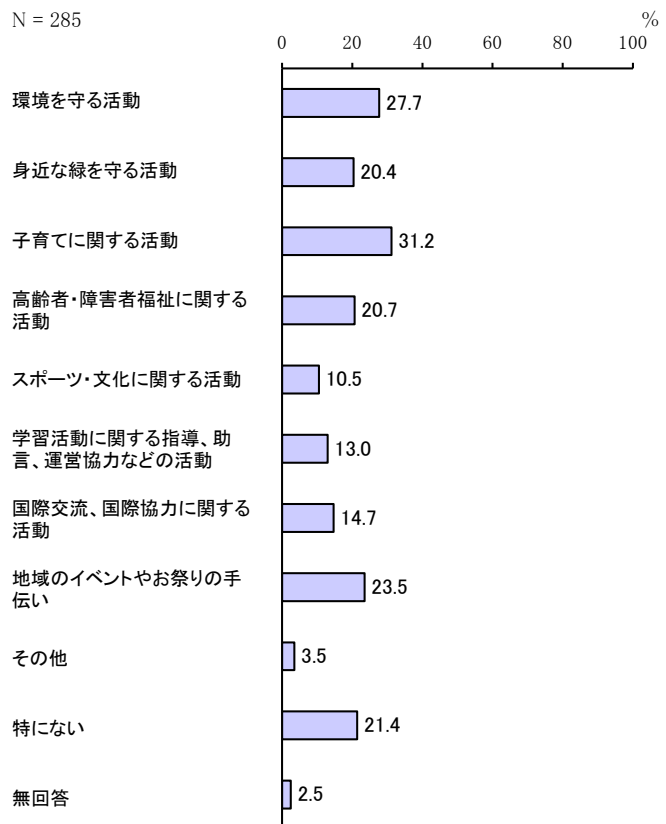
### [居住地区別 ボランティア活動への参加の有無]

居住地区別で見ると、大泉で「日常的にボランティアをしている」の割合が、2割以上と他の居住地区に比べて高くなっています。



問 18 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(〇はいくつでも)

「子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など）」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）」の割合が 27.7%、「地域のイベントやお祭りの手伝い」の割合が 23.5%となっています。



〔性別 参加したいボランティア活動〕

性別で見ると、男性で「環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）」「スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど）」の割合が高く、女性で「子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など）」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数（件）	環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）	身近な緑を守る活動（花壇づくりなど）	子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など）	高齢者・障害者福祉に関する活動（おとしよりや障害者への介護、給食など）	スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど）	学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など）	国際交流、国際協力に関する活動（通訳、外国人を助けるなど）	地域のイベントやお祭りの手伝い	その他	特にない	無回答
男性	66	50.0	22.7	13.6	18.2	19.7	12.1	13.6	28.8	1.5	22.7	3.0
女性	213	20.7	18.8	36.2	21.6	8.0	13.6	15.5	21.6	4.2	21.1	2.3

[年齢別 参加したいボランティア活動]

年齢別でみると、年齢があがるにつれ、「環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）」の割合が高くなっています。

単位：％

	有効回答数（件）	環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）	身近な緑を守る活動（花壇づくりなど）	子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など）	高齢者・障害者福祉に関する活動（おとしよりや障害者への介護、給食など）	スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど）	学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など）	国際交流、国際協力に関する活動（通訳、外国人を助けるなど）	地域のイベントやお祭りの手伝い	その他	特にない	無回答
40～49 歳	104	22.1	15.4	34.6	20.2	10.6	14.4	17.3	27.9	2.9	23.1	1.0
50～59 歳	97	26.8	23.7	34.0	19.6	9.3	14.4	14.4	24.7	3.1	19.6	2.1
60 歳以上	79	35.4	21.5	22.8	22.8	12.7	10.1	12.7	15.2	5.1	22.8	3.8

※30～39 歳はサンプル数 1 のため、表からは除きます。

[居住地区別 参加したいボランティア活動]

居住地区別でみると、石神井で「環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）」の割合が、他の居住地区に比べて高くなっている一方、「子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など）」の割合が、他の居住地区に比べて低くなっています。

単位：％

	有効回答数（件）	環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）	身近な緑を守る活動（花壇づくりなど）	子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など）	高齢者・障害者福祉に関する活動（おとしよりや障害者への介護、給食など）	スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど）	学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など）	国際交流、国際協力に関する活動（通訳、外国人を助けるなど）	地域のイベントやお祭りの手伝い	その他	特にない	無回答
練馬	58	22.4	20.7	34.5	13.8	3.4	13.8	24.1	19.0	3.4	19.0	1.7
光が丘	93	26.9	23.7	35.5	20.4	15.1	9.7	10.8	22.6	4.3	24.7	4.3
石神井	71	32.4	16.9	23.9	26.8	9.9	15.5	16.9	26.8	4.2	18.3	—
大泉	58	25.9	19.0	31.0	19.0	10.3	15.5	10.3	24.1	1.7	22.4	3.4

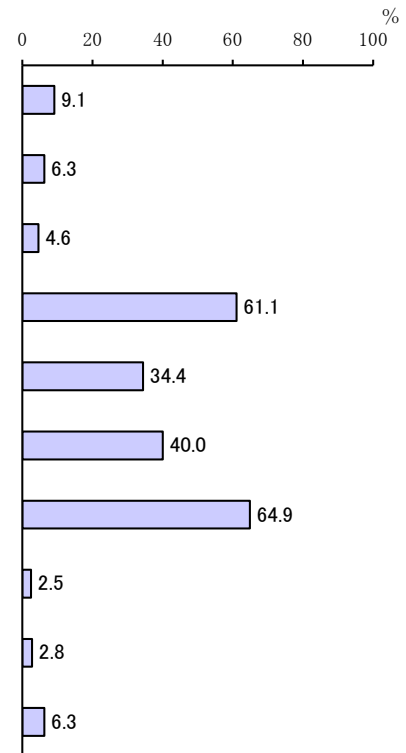
## (8) 少子社会に対する考え方について

問 19 あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えますか。（○は主なもの3つまで）

「親の老後への子どもの負担が大きくなる」の割合が64.9%と最も高く、次いで「まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる」の割合が61.1%、「親など周囲の干渉が強まる」の割合が40.0%となっています。

N = 285

一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる  
進学や就職において競争が少なくなる  
住宅事情が改善されて、買いやすくなる  
まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる  
一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる  
親など周囲の干渉が強まる  
親の老後への子どもの負担が大きくなる  
その他  
わからない  
無回答



### [性別 少子社会が個人生活に与える影響]

性別でみると、男性で「親の老後への子どもの負担が大きくなる」の割合が高く、女性で「親など周囲の干渉が強まる」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる	進学や就職において競争が少なくなる	住宅事情が改善されて、買いやすくなる	まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる	一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる	親など周囲の干渉が強まる	親の老後への子どもの負担が大きくなる	その他	わからない	無回答
男性	66	9.1	10.6	10.6	60.6	30.3	24.2	74.2	4.5	1.5	4.5
女性	213	9.4	5.2	2.8	60.1	36.2	43.7	62.4	0.9	3.3	7.0



[年齢別 少子社会が個人生活に与える影響]

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ、「親の老後への子どもの負担が大きくなる」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる	進学や就職において競争が少なくなる	住宅事情が改善されて、買いやすくなる	まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる	一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる	親など周囲の干渉が強まる	親の老後への子どもの負担が大きくなる	その他	わからない	無回答
40～49 歳	104	11.5	6.7	1.9	51.9	34.6	43.3	56.7	1.9	4.8	10.6
50～59 歳	97	6.2	7.2	4.1	64.9	38.1	45.4	66.0	1.0	2.1	4.1
60 歳以上	79	10.1	5.1	8.9	67.1	30.4	26.6	75.9	3.8	1.3	2.5

※30～39 歳はサンプル数 1 のため、表からは除きます。

[居住地区別 少子社会が個人生活に与える影響]

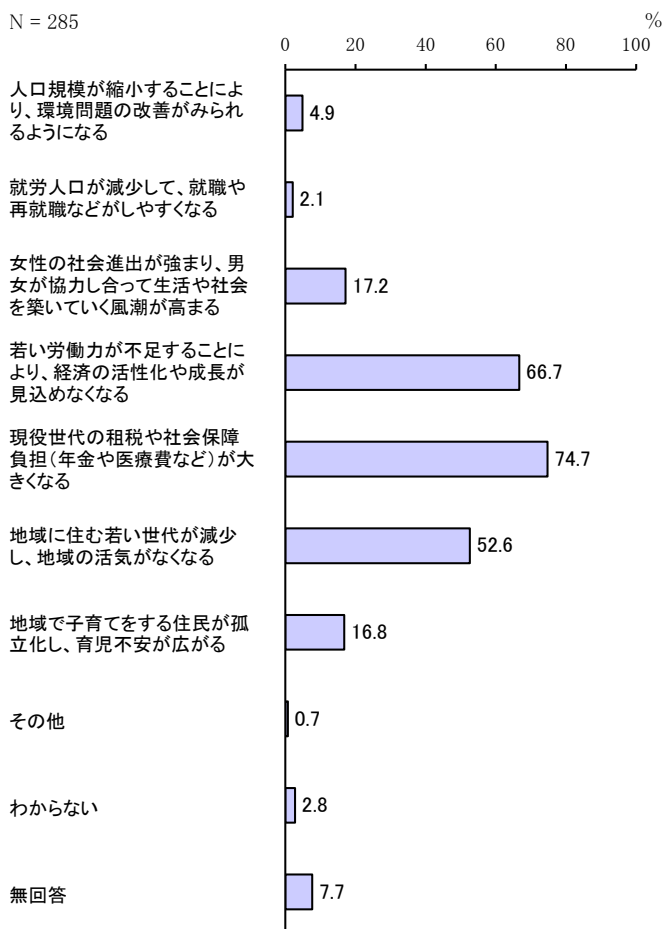
居住地区別でみると、光が丘で「親など周囲の干渉が強まる」の割合が、約 5 割と他の居住地区に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる	進学や就職において競争が少なくなる	住宅事情が改善されて、買いやすくなる	まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる	一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる	親など周囲の干渉が強まる	親の老後への子どもの負担が大きくなる	その他	わからない	無回答
練馬	58	3.4	5.2	10.3	60.3	41.4	31.0	63.8	5.2	3.4	8.6
光が丘	93	10.8	7.5	2.2	68.8	30.1	48.4	66.7	1.1	1.1	4.3
石神井	71	11.3	5.6	—	62.0	32.4	38.0	66.2	2.8	4.2	4.2
大泉	58	8.6	6.9	8.6	44.8	36.2	36.2	62.1	1.7	3.4	10.3

問 20 あなたは、少子社会が国や地域社会にどのような影響を与えますか。(〇は主なもの3つまで)

「現役世代の租税や社会保障負担（年金や医療費など）が大きくなる」の割合が74.7%と最も高く、次いで「若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる」の割合が66.7%、「地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる」の割合が52.6%となっています。



〔性別 少子社会が地域社会等に与える影響〕

性別でみると、男性で「若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる」の割合が高く、女性で「女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる	就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる	女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる	若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる	現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる	地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる	地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる	その他	わからない	無回答
男性	66	6.1	4.5	9.1	75.8	75.8	57.6	12.1	3.0	3.0	6.1
女性	213	4.7	1.4	19.7	62.9	75.1	50.2	18.3	—	2.8	8.5

[年齢別 少子社会が地域社会等に与える影響]

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ、「若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる」「地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる」の割合が高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる	就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる	風潮が高まる	女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく	若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる	現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる	地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる	地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる	その他	わからない	無回答
40～49 歳	104	5.8	—	17.3	61.5	71.2	35.6	23.1	—	2.9	11.5	
50～59 歳	97	5.2	4.1	18.6	66.0	81.4	59.8	12.4	1.0	1.0	6.2	
60 歳以上	79	3.8	2.5	15.2	73.4	73.4	65.8	13.9	1.3	5.1	3.8	

※30～39 歳はサンプル数 1 のため、表からは除きます。

[居住地区別 少子社会が地域社会等に与える影響]

居住地区別でみると、光が丘で「現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる」「地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる」の割合が、他の居住地区に比べてやや高くなっています。

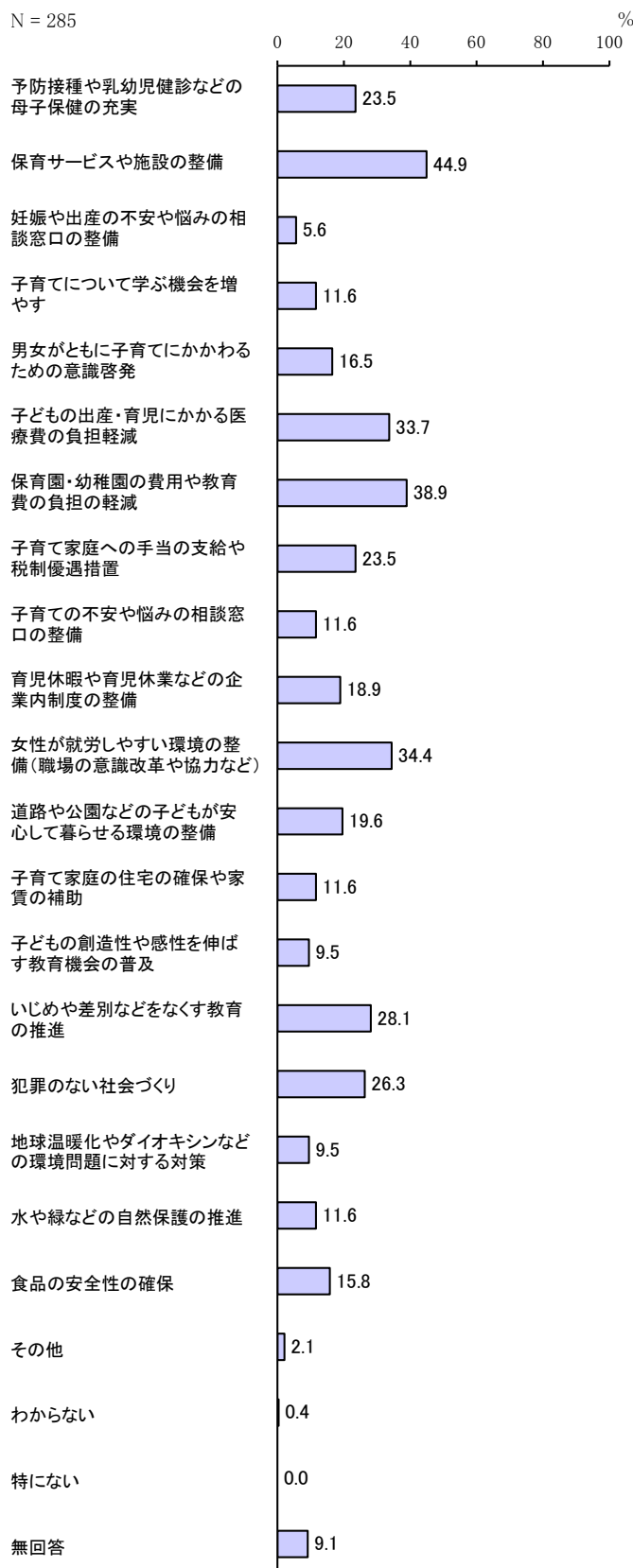
単位：％

	有効回答数(件)	人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる	就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる	風潮が高まる	女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく	若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる	現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる	地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる	地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる	その他	わからない	無回答
練馬	58	6.9	1.7	15.5	60.3	74.1	53.4	15.5	—	5.2	8.6	
光が丘	93	4.3	3.2	14.0	65.6	78.5	58.1	16.1	1.1	1.1	8.6	
石神井	71	2.8	—	19.7	71.8	74.6	47.9	19.7	1.4	2.8	4.2	
大泉	58	6.9	3.4	20.7	67.2	69.0	48.3	13.8	—	3.4	10.3	

## (9) 行政サービスへの要望について

問 21 あなたは子育てしやすい環境を整備するために、区はどうしていくのがよいと思いますか。(〇は5つまで)

「保育サービスや施設の整備」の割合が44.9%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」の割合が38.9%、「女性が就労しやすい環境の整備(職場の意識改革や協力など)」の割合が34.4%となっています。



[性別 区への要望]

性別でみると、男性で「予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実」「道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備」「いじめや差別などをなくす教育の推進」の割合が高く、女性で「女性が就労しやすい環境の整備（職場の意識改革や協力など）」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数（件）	予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実	保育サービスや施設の整備	妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備	子育てについて学ぶ機会を増やす	男女がともに子育てにかかわるための意識啓発	子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減	保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減	子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備	女性が就労しやすい環境の整備（職場の意識改革や協力など）
男性	66	36.4	45.5	7.6	12.1	10.6	39.4	36.4	18.2	15.2	16.7	25.8
女性	213	18.8	45.1	5.2	11.7	18.8	32.4	39.9	25.8	10.8	20.2	38.0

	道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備	子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助	子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及	いじめや差別などをなくす教育の推進	犯罪のない社会づくり	地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策	水や緑などの自然保護の推進	食品の安全性の確保	その他	わからない	特になし	無回答
男性	24.2	10.6	10.6	34.8	24.2	10.6	15.2	15.2	1.5	—	—	10.6
女性	17.4	12.2	9.4	25.4	26.3	9.4	10.8	16.4	2.3	0.5	—	8.5

[年齢別 区への要望]

年齢別でみると、40～49歳で「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」の割合が高く、60歳以上で「子育てについて学ぶ機会を増やす」「いじめや差別などをなくす教育の推進」の割合が高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実	保育サービスや施設の整備	妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備	子育てについて学ぶ機会を増やす	男女がともに子育てにかかわるための意識啓発	子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減	保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減	子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備	女性が就労しやすい環境の整備(職場の意識改革や協力など)
40～49歳	104	22.1	39.4	4.8	6.7	12.5	29.8	36.5	33.7	7.7	14.4	32.7
50～59歳	97	21.6	51.5	6.2	10.3	18.6	36.1	39.2	18.6	12.4	24.7	37.1
60歳以上	79	26.6	45.6	6.3	20.3	20.3	36.7	43.0	16.5	16.5	19.0	34.2

	道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備	子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助	子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及	いじめや差別などをなくす教育の推進	犯罪のない社会づくり	地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策	水や緑などの自然保護の推進	食品の安全性の確保	その他	わからない	特になし	無回答
40～49歳	22.1	10.6	11.5	25.0	31.7	12.5	10.6	21.2	3.8	1.0	—	8.7
50～59歳	19.6	12.4	7.2	24.7	24.7	5.2	9.3	12.4	—	—	—	10.3
60歳以上	15.2	11.4	10.1	35.4	20.3	11.4	16.5	13.9	2.5	—	—	7.6

※30～39歳はサンプル数1のため、表からは除きます。

[居住地区別 区への要望]

居住地区別でみると、石神井、大泉で「保育サービスや施設の整備」の割合が、5割以上と他の居住地区に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実	保育サービスや施設の整備	妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備	子育てについて学ぶ機会を増やす	男女がともに子育てにかかわるための意識啓発	子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減	保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減	子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備	女性が就労しやすい環境の整備(職場の意識改革や協力など)
練馬	58	24.1	36.2	6.9	13.8	17.2	34.5	44.8	22.4	12.1	17.2	43.1
光が丘	93	24.7	35.5	6.5	9.7	18.3	32.3	36.6	21.5	12.9	16.1	35.5
石神井	71	16.9	56.3	1.4	11.3	16.9	39.4	40.8	29.6	14.1	26.8	28.2
大泉	58	25.9	56.9	8.6	12.1	13.8	27.6	34.5	20.7	5.2	17.2	34.5

	道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備	子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助	子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及	いじめや差別などをなくす教育の推進	犯罪のない社会づくり	地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策	水や緑などの自然保護の推進	食品の安全性の確保	その他	わからない	特にない	無回答
練馬	20.7	15.5	15.5	20.7	17.2	5.2	10.3	17.2	—	—	—	6.9
光が丘	20.4	12.9	9.7	26.9	28.0	10.8	9.7	12.9	2.2	1.1	—	10.8
石神井	11.3	9.9	7.0	32.4	23.9	11.3	14.1	19.7	2.8	—	—	7.0
大泉	25.9	8.6	6.9	27.6	34.5	10.3	13.8	15.5	3.4	—	—	10.3

問 22 最後に、子育ての環境や支援策等に関して、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

#### ○子育てについての考え (29 件)

- ・妊娠出産がしやすい環境も大切だと思うが、子どもが大きくなった時の方がかかるものも多いのでそちらの支援も考えていただければ幸いです。妊婦だから子どもが小さいから優遇されるのが当たり前と思われている方が多いように感じます。何事も謙虚な気持ちは大切だと思うのでそのような導きもしていただきたいです。
- ・家族の形態も様々でお子さんの環境や育て方をあれこれ言えませんが、お子さんを甘やかさすぎない環境を望みます。教師の方も大変な時代かと思いますが、大らかな教育（決してゆとり教育ではないです）を希望します。練馬区はお子さんのいる母親にはとても住みやすいと聞いています。これからも老若男女、住みやすい環境を保って下さるようお願いいたします。
- ・子育ては、一人の人間を社会に出していくという大切な仕事の一面もあります。親のみならず、周囲の大人があたたかいまなざしを向け、大事に子ども達を育てていく土壌が良好な子育ての環境であると思います。
- ・少子化に伴い学校が減り、1クラスの人数が減る事も考えられます。小中高の行事は、子どもにとって大切な思い出になりますので、行事を活発にし、忘れられない学校生活が送れるようご支援頂ければと思います。
- ・自分は子育てはほとんど妻にまかせておりましたので、今思うともう少し子どもとの時間を持っておいたらと思いました。保育園などの受け入れ等、女性が仕事を続けられる様、核家族による相談（子育て）が気軽にできるような対策を。
- ・夫婦で子育てしたいと考えていても、中小企業には男性の子育てに対する理解が小さく、難しいのが現状です。結果、母親にのみ負担がかかり、仕事を続けられなくなります。もっと社会全体で男性が子育てに参加しやすくなる様な仕組みにしてほしいです。

#### ○金銭的な支援 (11 件)

- ・子育ては、子どもが社会人になるまでは何かとお金がかかる。保険なども中3までは無料だが、そのあとの方がお金がかかるので、高校生まで無料化にしてほしい。
- ・子ども達が高校、大学へ進学して思ったことですが、乳幼児期や小学生の時期の方が意外に経済的には余裕があり、子育て支援金がなくても何とかなつたと思います。義務教育が終わった後の支援は難しいのかもしれませんが、現在ほとんどの子ども達が高校・大学へ進学するため、大きくなってからの方が出費が多くなり、経済的にも厳しくなります。なので、子ども達が大きくなってからの支援金受給の方がとてもありがたいです。
- ・教育は、小学校以下より中学校になってからお金がかかると思う。小さい頃より大きくなってからの手当を増やした方が良い。



### ○子育て支援サービス（18件）

- ・働く女性がますます増え、保育サービスのより一層の充実が求められると思います。保育園も増えて働きやすくしてほしいというのはもちろん、それ以外の様々なもの（例えば、ちょっと熱が出たときの病児保育など）も増えていくといいと思います。
- ・女性が仕事をし、子育てを（2人目3人目を産んでも）しやすい環境支援をさらに進めていただきたい。
- ・まだまだ保育園に入れない待機児が多いと思います。女性（母親）が安心して働けるように整備を早めて下さい。
- ・仕事をしながら子育てができる環境の整備、例えば病気の子どもを預けられる保育園や保育ママさんの情報。地域で子どもを育てるまちづくり。また、塾などに行かなくても学校内で放課後レベル別の学習が受けられるなど。

### ○地域の交流（3件）

- ・互いに思いやる事のできる地域社会になればいいと思います。
- ・子どもと老人が共存できるようお互いが関わり合えるような交流の場を持つ。誰もが参加しやすい雰囲気や支援スタッフも楽しく活動する姿を見せる。

### ○その他（行政サービス等）（42件）

- ・一人ひとりの個性を伸ばしていただける教育の環境等を希望致します。子どもを産み育てる親の教育を考えて頂きたい。
- ・区は子どもへの虐待を皆無にするための方策を最優先課題として推進すべし。虐待情報の迅速な把握システムの構築が緊急に実行されるべき。